



取扱説明書

LG CineBeam Laser 4K

DLPプロジェクター

このたびはLGプロジェクターをお買い求め頂きまして、
誠にありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、
ご理解のうえ正しくお使いください。

お読みになったあとは保証書と共に大切に保管してください。

HU80KS (HU80KS-JP)



* M F L 7 0 4 0 1 4 3 8 *

(1911-REV01)

www.lg.com/jp

Copyright © 2019 LG Electronics Inc. All Rights Reserved.

ライセンス

サポートされるライセンスは、モデルによって異なる場合があります。ライセンスの詳細については、www.lg.com/jpにアクセスしてください。



HDMI, High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Dolby Vision、Dolby Audio、Dolby Atmos及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

DTS特許については、<http://patents.dts.com>を参照してください。DTSライセンスリミテッドからの実施権に基づき製造されています。DTS、シンボル、& DTSおよびシンボル、DTS 2.0 Channel、DTS 2.0+Digital Out、DTS-HD、DTS Virtual:Xは登録商標はDTS, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。DTS, Incは、すべての権利を保有します。



この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI - B



ヒント

- このマニュアルに記載されている画像は、お使いのプロジェクターと異なる場合があります。
- 実際のプロジェクターのOSD（オンスクリーンディスプレイ）は、このマニュアルで示す内容と多少異なる場合があります。

安全上のご注意

安全上の注意事項を正しく守り、事故が発生したり、本製品を誤って使用したりすることがないようにしてください。

以下の簡単な安全上のご注意に従うことで、お子様の怪我を防ぐことができます。

既存のプロジェクターを保管または移動する際と同じ注意を払ってください。

- 下に説明するように、安全に関する注意事項には「警告」と「注意」の2種類があります。

警告 取り扱いを誤ると、死亡または重傷を負うおそれがある警告事項が記載されています。

注意 取り扱いを誤ると、ケガや製品の損傷を招くおそれがある注意事項が記載されています。

- 取扱説明書をよく読み、必要な際に参照できるよう保管しておいてください。



警告/注意

感電のおそれがあります
開けないでください



正三角形に囲まれた矢印の付いた稲妻の記号は、製品の筐体内に、人体に感電する恐れのある、絶縁されていない危険な電圧が存在することを警告することを目的としています。

正三角形の中の感嘆符は、装置に付属の資料に、操作および保守（サービス）に関する重要な指示があることをユーザーに警告することを目的としています。

警告/注意

- 火災や感電の危険を避けるために、この製品を雨や湿気にさらさないでください。

本ページ「安全上のご注意」をよくお読みいただき、すべての警告に従ってください。

室内での設置場所について

警告

- 本製品を屋外で使用しないでください。また、湿気の多いところに置いたり水に濡らしたりしないでください。
 - 製品は防水ではありませんので、発火や感電のおそれがあります。
- 本製品を、直射日光の当たる場所や火気（ラジエーター、火、ストーブなど）の近くに置かないでください。
 - 発火のおそれがあります。

4 安全上のご注意

- エアゾルなどの引火性溶剤をプロジェクターの近くで噴射しないでください。
 - 発火のおそれがあります。
- プロジェクターを小さなお子様に触れさせないようにしてください。
 - 製品が落下して、死亡または傷害を負う原因となるおそれがあります。
- 通気性が悪い場所(本棚やクローゼットなど)や、カーペット、クッションの上に製品を設置しないでください。
 - 内部温度の上昇により発火するおそれがあります。
- 加湿器やキッチンカウンターなど、蒸気、油、油煙の発生源となる物の近くに製品を置かないでください。
 - 発火、感電、腐食のおそれがあります。
- 油や油煙の発生源の近くにある壁や天井に製品を設置しないでください。
 - 製品が損傷したり落下したりして、重傷を負うおそれがあります。
- ほこりの多い場所にプロジェクターを置かないでください。
 - 発火のおそれがあります。
- 製品がぬれるような湿度の高い場所(浴室など)ではプロジェクターを使用しないでください。
 - 火災や感電の原因となるおそれがあります。
- テーブルクロスやカーテンが通気口をふさがないように気をつけてください。
 - 内部温度の上昇により発火するおそれがあります。
- 十分な通気性を確保するため、プロジェクターの周りは周囲30cm以上の空間を空けて設置してください。
 - 内部温度の上昇による発火を予防できます。
- 製品を天井に設置する場合は、認証を受けた工具を使用し、専門の技術者が作業を行ってください。正しく設置されないと、製品が落下する可能性があります。
 - 怪我や製品の損傷が起きるおそれがあります。製品の設置の際は、カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

- 天井取り付け器具を使用する場合は、ネジがゆるまないよう注意してください。また、製品に油、または潤滑剤を注すとケースに亀裂が生じ、製品が落下するおそれがあります。製品の損傷のほか、製品の下に人がいる場合、重傷を負うおそれがあります。
- 製品を、食器棚、本棚、キャビネットなどの上などの高所に設置する場合は、固定具などを使用して、本製品が動かないようにしてください。
 - プロジェクターが落下するとケガするおそれがあります。
- エアコンの下や、エアコンの風が直接あたる場所には置かないでください。
 - 結露による火災の原因となります。

⚠ 注意

- プロジェクターを移動するときは、電源を切り、電源プラグとコードを取り外してください。
 - 電源コードに損傷があると、火災や感電が発生するおそれがあります。
- 不安定な棚や斜面など、不安定な面や振動する面にプロジェクターを置かないでください。
 - プロジェクターが落下してケガの原因となることがあります。
- 外部デバイスをプロジェクターに接続する際、プロジェクターを倒さないよう気をつけてください。
 - ケガやプロジェクターの損傷が起きるおそれがあります。
- プロジェクターをテーブルに設置する場合、縦置きにすると、プロジェクターが落下する場合があります。テーブルに設置する場合は横置きにしてください。
 - 落下によって、製品の故障やケガにつながるおそれがあります。

電源に関する注意事項

警告

- 電源接続器は断路装置として使用します。
 - 電源プラグは電源を切断する装置です。緊急時に備えて、電源プラグは簡単に手が届く状態にしておく必要があります。
- アース線を接続してください。(アースされないデバイスを除きます)。
 - 必ずアースケーブルを接続し、感電を防いでください。装置を接地できない場合は、専門の電気技師に別途プレーカーの取り付けを依頼してください。電話線、避雷針、ガス管に接続することでプロジェクトを設置しないでください。
- 電源プラグはコンセントに完全に差し込んでください。
 - 完全に差し込まないと、発火のおそれがあります。
- 電源コードに重いものを乗せないでください。
 - 火災や感電の原因となるおそれがあります。
- 濡れた手では電源プラグに触れないでください。
 - 感電するおそれがあります。
- マルチタップを使用しないでください。
 - 電源コンセントの過熱により発火するおそれがあります。
- 電源プラグ、使用中のコンセントの差し込み口にほこりが付着しないようにしてください。
 - 火災の原因となるおそれがあります。
- プロジェクターまたは電源コードや電源プラグから煙が出たり、異臭がした場合は、直ちに製品の使用を停止して、速やかにコンセントから電源コードを抜き、カスタマーセンターにご相談ください。
 - 火災の原因となるおそれがあります。
- 主電源をオフにするには、電源プラグを取り外します。電源プラグは、手の届く場所に配置する必要があります。
- 電源プラグを抜く際は、指が刃(接続部分)に触れないようにしてください。
 - 感電や火災のおそれがあります。

⚠ 注意

- 電源コードをコンセントから抜くときは、電源プラグをしっかりと持ってください。
 - － コードが損傷すると、火災や製品破損の原因となるおそれがあります。
- 電源コードがねじれないようにしてください。
 - － 電源コードが長期間強い負荷がかかった状態のままになっていると、コードの内部が破損することがあり、火災や感電の原因となるおそれがあります。
- 電源コードとプラグが損傷していないこと、電源コードとプラグを改造したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、はさんだり、加熱したりしていないことを確認してください。コンセントがゆるい場合は、本製品を使用しないでください。
 - － 火災や感電の原因となるおそれがあります。
- 電源コードを引きだしたときに赤いマークが見えたら、それ以上引き出さないでください。また、コードを巻き取る際はプラグを持ってください。
 - － 断線の原因になります。プラグが周囲にぶつかり、物損やケガの原因になります。
- 電源コードを加熱する機器から離してください。
 - － コードの被膜が溶けて、発火や感電が起きるおそれがあります。
- 人が電源コードにつまずいたり電源コードを踏みつけたりしない場所にプロジェクターを配置し、電源コードとプラグの損傷を防いでください。
 - － 火災や感電の原因となるおそれがあります。
- 電源プラグをコンセントから抜き差しして、プロジェクターの電源をオンオフしないでください（電源プラグをスイッチのように使用しないでください）。
 - － 感電したり、製品が損傷したりするおそれがあります。
- 電源プラグがコンセントに差し込まれているときに、コンセントの反対側に導体を差し込まないでください。また、電源プラグをコンセントから抜いた直後に電源プラグに触れないでください。
 - － 感電するおそれがあります。
- LG Electronicsが提供する正規の電源コードのみを使用してください。他の電源コードを使用しないでください。
 - － 火災や感電の原因となるおそれがあります。

- 電源コード、またはプロジェクターの内部に水または異物が入った場合は、速やかに電源ボタンを押してプロジェクターの電源をオフにして、すべてのケーブルを取り外し、カスタマーセンターにご相談ください。
 - 火災や感電の原因となるおそれがあります。
- 電源装置(電源コードなど)を分解しないでください。
 - 電源コードが破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります。
- 電源コードはしっかりと接続します。
 - 製品の障害や火災の原因になるおそれがあります。
- 破損を防ぐために、電源コードの上に重いものを置いたり圧力をかけないでください。
 - 火災が発生したり、製品が損傷することがあります。

使用時の注意事項

警告

- 液体を含むもの(花瓶、植木鉢、カップ、化粧品、薬品、装飾品、ろうそくなど)を、プロジェクターの上に置かないでください。
 - こぼすなどして、液体がかかると、発火、感電、ケガの原因となるおそれがあります。
- 強い衝撃を与えたりキャビネットが損傷した場合は、電源をオフにして電源コードをコンセントから引き抜き、弊社カスタマーセンターにご相談ください。
 - 感電するおそれがあります。
- 金属製のもの(硬貨、ヘアピン、金属片など)や可燃性のもの(紙やマッチなど)をプロジェクターに差し込まないでください。
 - 感電や発火の原因となるおそれがあります。
- リモコンの古い電池を新しい電池と交換するとき、お様が電池を誤飲しないように注意してください。電池はお子様の手の届かない場所に置いてください。
 - お様が電池を飲み込んでしまった場合は、すぐに医師に相談してください。

- 本製品を分解、改造しないでください。
 - 感電のおそれがあります。また、分解、改造による故障やケガに対しては、弊社は一切の責任を負いません。
- プロジェクターの使用中に、レンズを直接見ないでください。
 - 強い光によって目を傷めることがあります。
- ランプがオンになっているとき、またはオフにした直後は、非常に高温になっているため、排気口やランプに触れないでください。
- プロジェクターを設置している部屋でガス漏れが発生した場合は、プロジェクターや電源コンセントに触れないでください。窓を開けて換気してください。
 - 火花が火災や火傷の原因となるおそれがあります。
- 落雷時は、電源コードをコンセントから抜いてください。
 - 感電やプロジェクターへの損傷を防げます。
- 強い磁場を生じさせる電子機器の近くでプロジェクターを使用しないでください。
- プロジェクターの梱包に使用されているプラスチックフィルムは、お子様の手の届かない場所においてください。
 - 安全に扱わないと、窒息の原因となるおそれがあります。
- プロジェクターが動作しているときには、プロジェクター上に長時間手を置かないでください。
- プロジェクターにゲームコンソールを接続してゲームをプレイするときには、画面の対角線の長さの4倍以上の距離を維持することをお勧めします。
 - 接続ケーブルの長さが十分であることを確認してください。長さが短いと、製品が落下して、傷害を負ったり、製品が損傷したりすることがあります。
- プロジェクターや電池を入れたリモコンを極度に高温な場所に置かないでください。
 - 発火、爆発のおそれがあります。

 注意

- プロジェクターの上に、重いものをのせないでください。
 - プロジェクターが損傷するおそれがあります。
- 搬送中にレンズに衝撃を与えないように注意してください。
- レンズに触れないでください。
 - レンズが損傷する可能性があります。
- ナイフやハンマーなどの鋭利な工具をプロジェクターに使用しないでください。製品が損傷することがあります。
- 画面に映像が表示されない。音声聞こえないなどの場合は、プロジェクターの使用を中止してください。プロジェクターの電源をオフにして電源コードをコンセントから抜き、弊社カスタマーセンターにご相談ください。
 - 火災や感電の原因となるおそれがあります。
- プロジェクターの上に物を落としたり、プロジェクターに衝撃を与えないでください。
 - ケガやプロジェクターの損傷につながるおそれがあります。
- 画面の対角線の長さの5～7倍以上の距離で視聴することをお勧めします。
 - 長時間、近くで画面を見ていると、眼精疲労や視力低下につながるおそれがあります。
- プロジェクターが発する光線の至近距離にもものを置かないでください。
 - プロジェクターの光線に長時間さらされていると発火のおそれがあります。また、レンズが過熱して、反射熱で損傷するおそれがあります。AV機能を無効化して映写を一時的に中止するか、電源を切ってください。
- 音量を最大にしてプロジェクターを起動しないでください。
 - 大音量により聴覚にダメージを与えるおそれがあります。
- ヘッドホンやイヤホンを使用する場合は、音量に注意して、長時間の使用は避けてください。
 - 聴力に影響する場合があります。

- プロジェクターの近くで高電圧の電子機器を使用しないでください(電気虫取り器など)。製品が誤作動を起こすことがあります。
- プロジェクターの開口部(レンズ、ミラー)をふさがないでください。
- プロジェクターを長時間オンのままにしておくと、通気口が高温になります(動作不良ではありません)。長時間使用したあとに、持ち運ぶ際は時間を置いて、プロジェクターをさましてから行ってください。火傷のおそれがあります。
- プロジェクターを持ち運ぶ際は、電源コードや接続されたケーブル類、ミラーを持たないでください。また、逆さまに持ちあげたり、動かさないでください。
 - 製品の破損や、感電、火災、ケガの原因になります。
- 電源コードがコンセントに接続されている場合は、スイッチをオフにしても電源はオフになりません。

清掃

警告

- お手入れの際は、プロジェクターに水を吹き付けないでください。プロジェクターに液体が入らないようにしてください。
 - 火災や感電の原因となるおそれがあります。
- プロジェクターから煙が出たり、異臭がしたりするなどの異常が発生した場合、またはプロジェクター内に異物が入った場合は、プロジェクターの電源をオフにし、電源プラグをコンセントから抜いて、弊社カスタマーセンターにご相談ください。
 - 放置すると、発火や感電が起きるおそれがあります。

 注意

- プロジェクター内部の清掃のため、年に一度、弊社カスタマーセンターにご相談ください。
 - 長期間プロジェクターを清掃しないと、ほこりがたまって発火やプロジェクターの損傷の原因となるおそれがあります。
- 筐体などのプラスチック部分を清掃するときは、まずコンセントから電源プラグを抜いて、やわらかい布で拭いてください。液体スプレーを使用したり、ぬれた布で拭いたりしないでください。ガラスクリーナー、自動車用または工業用の光沢剤、研磨剤、ワックス、ベンゼン、アルコールなどを決して使用しないでください。プロジェクターが損傷する可能性があります。
 - 発火、感電や、製品の損傷（変形、変色、腐食）の原因となるおそれがあります。
- 製品の電源をオフにした直後、または製品の使用中に、光学部品（レンズやミラー）を拭かないでください。部品をお手入れする場合は、コンセントから電源コードを抜いて、水気を含まない柔らかい布でやさしく拭いてください。液体スプレーを使用したり、ぬれた布で拭かないでください。化学洗剤、自動車用または工業用の光沢剤、研磨剤、ワックス、ベンゼンやアルコールなどの揮発性溶剤、水などを使用して本体、光学部品（レンズやミラー）を拭かないでください。製品が損傷するおそれがあります。
 - 発火、感電や、製品の損傷（変形、変色、腐食）の原因となるおそれがあります。
- 製品をお手入れする前に、コンセントからプラグを抜いてください。
 - 感電するおそれがあります。

レーザー

警告

- 製品にはレーザーモジュールが含まれます。危険ですので、製品の分解や改造はしないでください。
- 取扱説明書に記載されていない方法で製品を操作、または改造した場合、レーザー光線にさらされる危険があります。
- 目を傷めるおそれがあるため、ユニットからの強い光を直視しないでください。
- 本書に記載されていない方法で装置の操作や調整を行い、本書の手順に従わない場合は、危険な光線にさらされるおそれがあります。

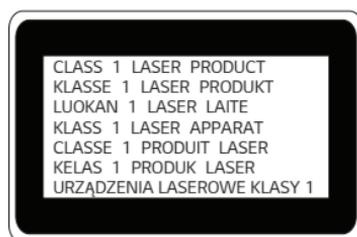
注意

- 本製品はIEC 60825-1を満たしているクラス1レーザー機器に分類されています。

内蔵レーザー規格(クラス4レーザーモジュール)

- 波長:448nm~462nm
- 光出力:約 4.5W×12

製品レーザークラスラベル



本機のレーザークラスレベルは、製品の底面に記載しています。

その他

警告

- 外出する際は、プロジェクターをペットなど、動物が触れない場所に置き、電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - 損傷した電源コードを使用すると、ショートや発火の原因になるおそれがあります。
- 高精密電子機器や微弱無線信号を発する機器の近くでプロジェクターを使用しないでください。
 - 製品の作動に影響し、故障の原因となるおそれがあります。
- 専門の技術者以外、プロジェクターの分解や改造を行わないでください。診断、調整、修理が必要な場合は、弊社カスタマーセンターにご相談ください。
 - 火災や感電の原因となるおそれがあります。
- 適切な換気が必要です。ユニットまわりの空気の流れを妨げないでください。ケガや製品内部の過熱が起きるおそれがあります。
- レンズに触れないでください。やけどやレンズの損傷を招くおそれがあります。使用直後は、レンズおよびユニットが高温になっている可能性があります。ユニットを取り扱う際は十分注意し、適切にクールダウンさせます。
- 必ずアース線を接続してください。(アースされないデバイスを除きます)。
- 通気口にもものを挿入したりふさいだりしないでください。
 - 火災や感電の原因となるおそれがあります。
- 適切な状態で使用するためにメンテナンスの項に従ってください。点検整備は弊社カスタマーセンターにご相談ください。
- バッテリーはお子様の手の届かない場所で保管してください。
 - ケガや製品の損傷の原因になる可能性があります。

⚠ 注意

- プロジェクターを長時間屋外で使用または保管しないでください。
- 新しい電池と古い電池を一緒に使用しないでください。また、異なる種類の電池を同時に使用しないでください。
 - 電池の破裂や液漏れにより、火傷やケガ、製品の損傷のおそれがあります。
- 製品を長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。
 - ほこりがたまると、過熱、発火、絶縁不良のために火災が発生したり感電したりするおそれがあります。
- 電池は指定されたタイプのものを使用してください。
 - 電池の破裂や液漏れによりケガや製品の損傷のおそれがあります。
- 電池を交換するときには同じ種類のものを使用してください。
 - 電池の接触不良の場合、電池が短時間で消耗したり、リモコンが正常に機能しないことがあります。
- 使用済み電池は適切に廃棄してください。爆発や火災の原因となるおそれがあります。
 - 廃棄方法は、国や地域によって異なります。電池パックは指示どおりに廃棄してください。
- 電池を投げたり分解したりしないでください。
 - 電池が損傷し、火災や爆発の原因となるおそれがあります。
- 電池は、鍵やクリップなどの金属類の近くに保管しないでください。
 - 過度な電流により、温度が急激に上昇し、火災が発生したり火傷を負ったりする可能性があります。
- 電池を、ヒーターなどの熱源の近くに保管しないでください。
 - 火災が発生したり、電池が爆発、損傷したりすることがあります。
- 電池を、温度が60℃以上になる場所や湿度が高い場所に保管しないでください。
 - 爆発や火災の原因となるおそれがあります。
- 電池が正しく取り付けられていることを確認してください。
 - 電池の誤った用法は爆発、火災の原因となるおそれがあります。
- 電池交換の際は、プラス極、マイナス極に対して正しくセットされているか確認してください。
 - 電池の破裂や液漏れによって、火災、爆発、火傷、ケガ、周囲の汚染や損傷を招くおそれがあります。

LEDリスクグループ2 (IEC62471)

注意：本製品から危険な光学的放射線が放出される可能性があります。動作中のランプを見つめないでください。目を傷めるおそれがあります。

このラベルは製品の下部に貼付されています。また、上記とは異なる言語の場合があります。

目次

ライセンス	2	機器の接続	48
安全上のご注意	3	HDMI機器に接続する	49
準備	17	– HDレシーバー、DVD、または外部デバイスに接続する	49
付属品	17	– パソコンに接続する	50
付属品以外に必要なもの	18	– ノートパソコンに接続する	51
各部の名称と位置	19	ヘッドホンに接続する	52
ボタンの使用	24	デジタルアンプに接続する	53
– 基本機能	24	モバイル機器に接続する	54
– メニューの調整	25	モバイル機器の接続例	54
プロジェクターステータスインジケータ	26	– Slimport対応デバイス	54
設置	27	– Apple Lightning Digital AVアダプタ対応デバイス	54
– 設置に関する注意事項	27	– Apple 30ピン Digital AVアダプタ対応デバイス	54
– ミラーの調整と注意	29	メンテナンス	55
– 床に設置する	33	お手入れ	55
– テーブルに設置する	34	– レンズのお手入れ	55
– 天井に設置する	36	– 筐体のお手入れ	55
– 最大画面サイズを使用する	37	トラブルシューティング	56
– スクリーンサイズごとの投影距離	38	– 全般	56
– ケンジントンセキュリティシテム	41	– 画質	56
マジックリモコン	42	– サウンド	57
マジックリモコンの登録方法	44	– PC接続の問題	57
マジックリモコンを再登録するには	44	– マイメディアでのムービーの再生に関する問題	58
マジックリモコンの使用	45	仕様	59
プロジェクターの使用	46	Wireless モジュール (LGSBWAC72)仕様	63
– 映像の焦点を調整する	46	オープンソースソフトウェア通知情報	65
– プロジェクターを起動する	47	記号	66

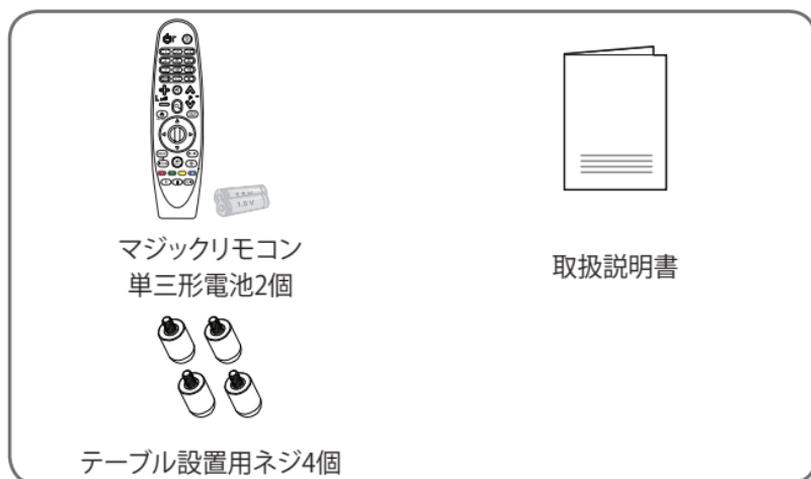
準備

画像は実際の製品とは異なる場合があります。

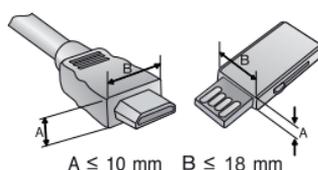
付属品

箱を開けた際は、付属品をご確認ください。万が一付属品が不足している場合は、お求めの販売店にお問い合わせください。

付属品は事前の予告なく変更されることがあります。



- HDMIケーブルの接続または、USBケーブル、USBフラッシュドライブの接続の際は、幅18mm以下、高さ10mm以下の製品を使用してください。USBケーブルやUSBフラッシュドライブがプロジェクターのUSB端子に合わない場合は、USB 2.0/3.0対応の延長ケーブル等を使用してください。



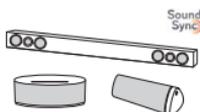
- HDMIケーブルはHDMIロゴ付きの認証済みケーブルを使用してください。
- 認証済みのHDMIケーブルではない場合、画面が表示されなかったり、接続エラーが起きることがあります。
(推奨のHDMIケーブルのタイプ)
 - 高速HDMI®/™ケーブル
 - イーサネット対応高速HDMI®/™ケーブル

付属品以外に必要なもの

プロジェクターを使用する際、使用する機能や環境により、以下のアクセサリ部品が必要になることがあります。アクセサリ部品の購入は、製品をお求めいただいた販売店または、電気店、オンラインショッピングサイト等にお問い合わせください。



プロジェクター用の
スクリーン



LGオーディオ
デバイス



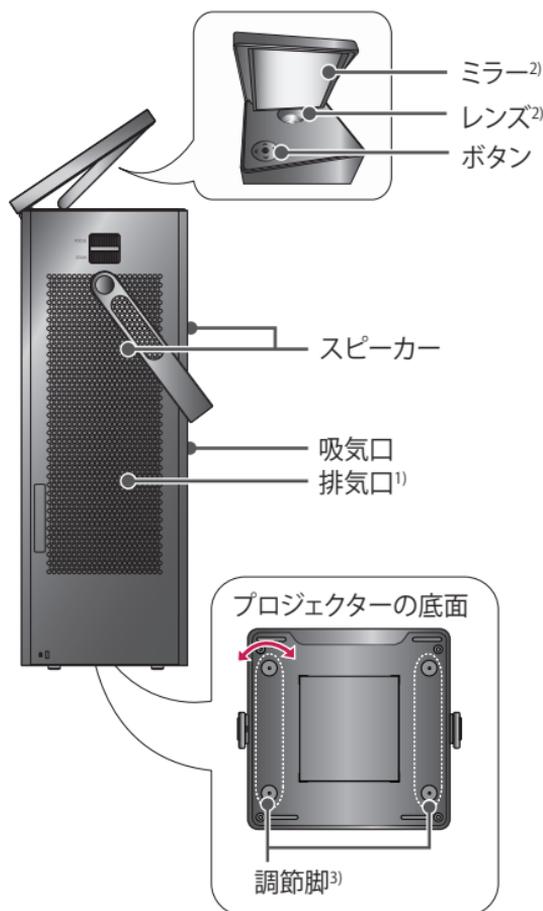
HDMIケーブル



光ケーブル

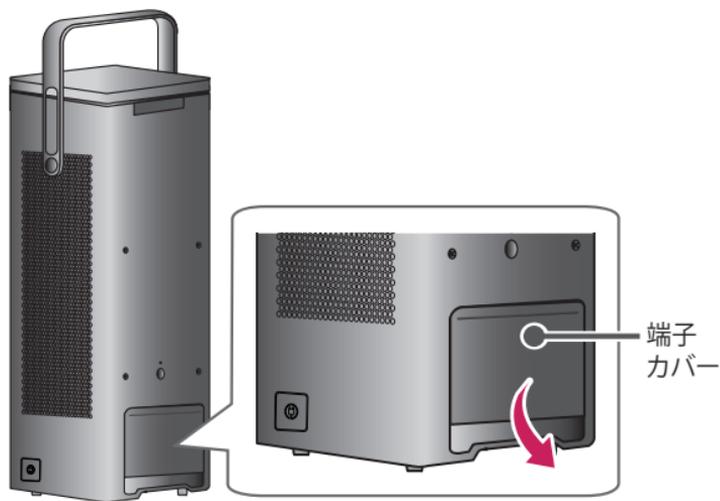
各部の名称と位置

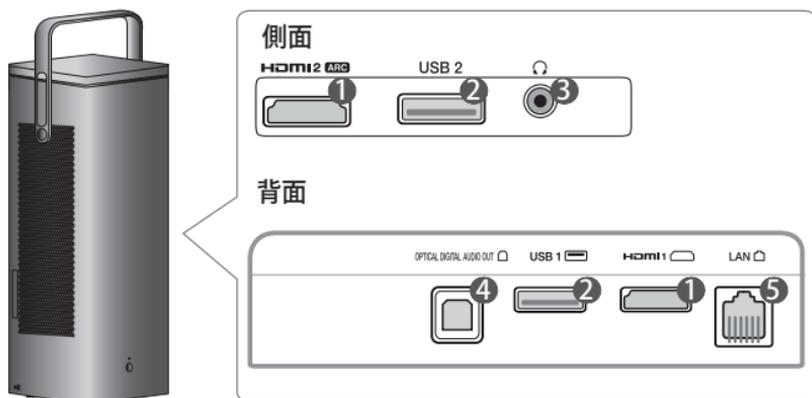
本製品は高精度な技術で作られており、画面の一部にごく小さな黒い点や赤、青、緑などの点が見えることがあります。これは製品の特性であり、製品不良、故障ではありません。



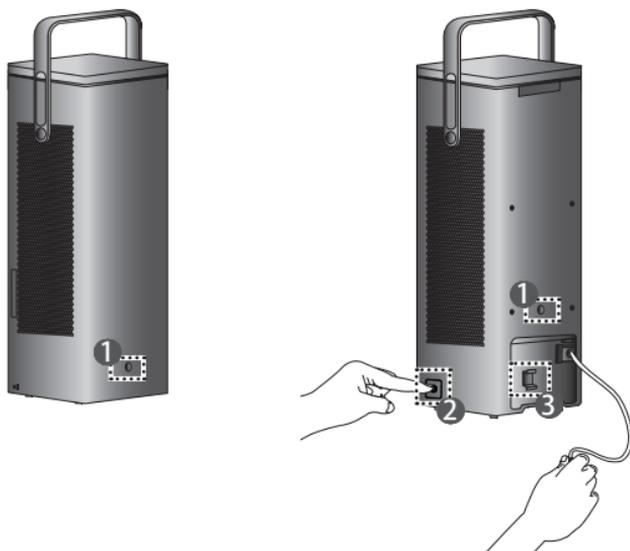
- 1) 通気口付近は温度が上昇するため、通気口付近にものを置いたり、通気口から出る風を浴びないようにしてください。
- 2) プロジェクターの使用中に、レンズや鏡に触れないでください。レンズと鏡が損傷する可能性があります。(先のとがったものをレンズに近づけないでください)
- 3) 調節脚を左右に回して、角度を調整します。

電源ケーブルやコードを差し込む前に、下記のイラストのとおり端子カバーを取り外してください。

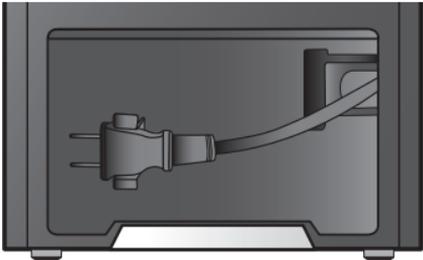




番号	説明
①	HDMI (HDMI入力端子)
②	USB端子
③	〰️ (ヘッドホン端子)
④	OPTICAL DIGITAL AUDIO OUT (光デジタル音声入出力端子)
⑤	LAN 端子



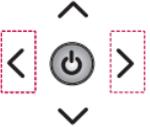
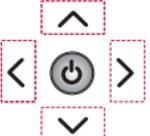
番号	説明
①	IRレシーバー
②	<p>電源コードの巻き取りボタン プロジェクターを使用していないときは、電源コードの巻き取りボタンを押して、電源コードを収納してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 片手で電源コードを持ち、電源コードの巻き取りボタンを押してください。 <ul style="list-style-type: none"> － 電源コードやプラグがプロジェクターや周囲に当たって、ケガを負ったり、プロジェクター、電源プラグ、周囲の物が破損するおそれがあります。 • 電源コードが完全に収納されない場合や完全に引き出せない場合は、 <ul style="list-style-type: none"> － コードを一度引き出してから、もう一度巻き取りボタンを押してください。 － 電源コードが出てこない場合は、コードを強めに引き出してください。 • 電源コードを引き出したときに赤いマークが見えたら、それ以上引き出さないでください。 <ul style="list-style-type: none"> － 断線の原因になります。また、プラグが周囲にぶつかり、物損やケガの原因になります。

番号	説明
③	<p>電源コードホルダー</p> <ul style="list-style-type: none">• プロジェクターを使用しないときは、電源コードをホルダーに固定してください。<ul style="list-style-type: none">– ケーブルを電源コードホルダーに固定しないと、カバーが閉まらないことがあります。 

ボタンの使用

ボタンでプロジェクターを操作できます。

基本機能

	電源オン	プロジェクターの電源がオフのとき、電源ボタンを1回押します。
	電源オフ ¹⁾ (長押し)	プロジェクターの電源がオンのとき、電源ボタンを3秒以上長押しします。
	音量コントロール	左・右ボタンを押すと音量を調整できます。
	上/下/ 左/右	機能を設定したり、カーソルを移動したりします。

- 1) 電源オフボタンが押されなくても、ミラーを閉じると1分後に電源がオフになります。

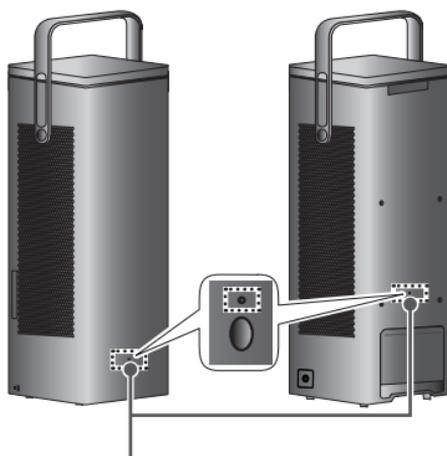
メニューの調整

プロジェクターの電源がオンのとき、電源ボタンを1回押します。

上下左右の方向ボタンを押して、メニュー項目(⏻, ⏪, ✕, ⚙)を調整します。目的のメニュー項目に移動し、電源ボタンを1回押して選択します。

	電源をオフにします。
	入力元を変更します。
	オンスクリーンディスプレイをクリアし、プロジェクターの表示に戻ります。
	設定メニューを表示します。

プロジェクターステータスインジケータ



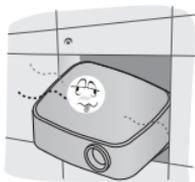
LED電源インジケータ

LED電源インジケータ	
赤色	電源スタンバイ状態
オフ	電源オン時は動作中

設置

設置に関する注意事項

- プロジェクターは通気の良い場所に配置してください。
 - 内部の過熱を防ぐため、通気の良い場所にプロジェクターを設置してください。プロジェクターの近くに、通気を妨げるものを置かないでください。通気が妨げられると、プロジェクターの内部温度が上昇します。



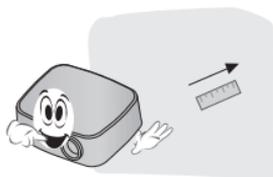
- じゅうたんやラグの上にプロジェクターを置かないでください。プロジェクターは安定した平らな場所に設置してください。通気口がふさがれてしまうと内部温度が上昇し、異常動作や故障の原因になります。また、不安定な場所への接地は転倒により製品の破損やケガの現任になるおそれがあります。



- 紙屑などの異物がプロジェクターに入らないように注意してください。



- 十分な通気性を確保するため、プロジェクターの周りは周囲30cm以上の空間を空けて設置してください。



- 高温、低温、または高湿度の場所にプロジェクターを配置しないでください。
- ほこりの多い場所にプロジェクターを配置しないでください。
 - 発火のおそれがあります。
- 本製品を分解、改造しないでください。感電のおそれがあります。また、分解、改造による故障やケガに対しては、弊社は一切の責任を負いません。

- 本製品は高精度な技術で作られており、画面の一部にごく小さな黒い点や赤、青、緑などの点が見えることがあります。これは製品の特性であり、製品不良、故障ではありません。
- 電子安定器付きの照明器具や3波長形蛍光灯が設置されている場所では、リモコンが機能しないことがあります。リモコンの正常な動作のため、国際標準を満たした照明器具の元で使用してください。
- 天井に設置する場合は、天井用のブラケットを使用し、M4×8mmで固定してください。
- ネジを過度に締め付けしないでください。筐体や内部の部品が破損して、落下する恐れがあります。(推奨トルク値 5~8kgf・cm)
- プロジェクターの開口部(レンズ、ミラー)をふさがないでください。

ミラーの調整と注意

手順に従ってミラーを調節します(次ページのイラストを参照してください)。ミラーを調整するときは、ミラーを後方に過度に傾けないでください。製品が損傷する可能性があります。

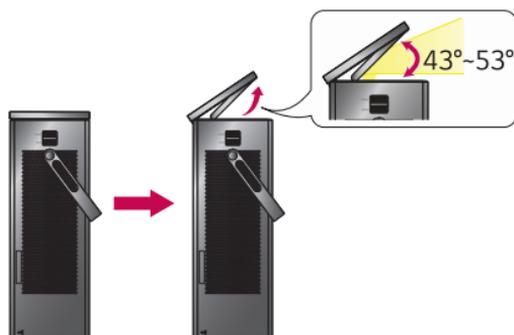


- ミラーが閉じているときは回転させないでください。
 - ミラーを破損する恐れがあります。



- ミラーを床面に向けるように調整しないでください。
 - ライトが投影されないため、スクリーン上に何も表示されません。
 - 約1分後にプロジェクターの電源がオフになります。

前方に投影する場合



- ミラーの角度を調整して画面の位置を調整できます。
 - ミラーの角度が43~53度のときに投射する位置を調整できます。

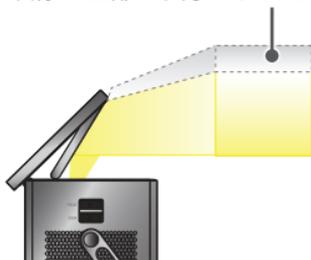

注意


映像の下部が表示されません。

ミラーの角度を43度以下にすると

- 光源が遮断され、投影された映像の下部が表示できません。
- ミラーの角度をさらに鋭角(本体に近づける)にすると光源が投影されず、映像が表示されません。
- ミラーを閉じると、約1分後にプロジェクターがオフになります。

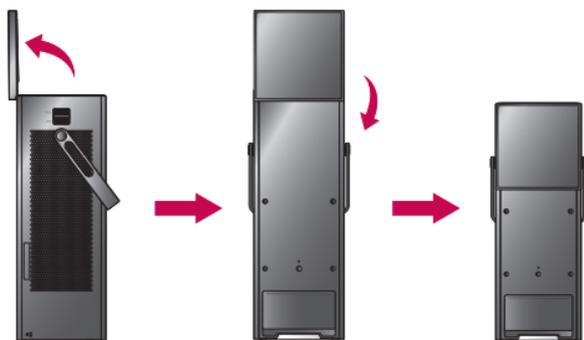
映像の上部が表示されません。



ミラーの角度を54度以上にすると

- 光源の上部がミラーの範囲外になり、投影された映像の上部が表示できません。

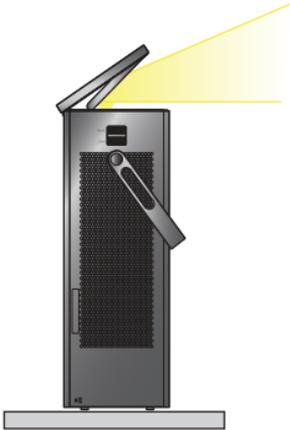
上方(または横置き)に投影する場合



- 1 ミラーの角度を90度に調整します。
- 2 ミラーを時計回りに180度回転させて下に押し下げます。
- ミラーを閉じるときは逆の手順で元に戻してください。

床に設置する

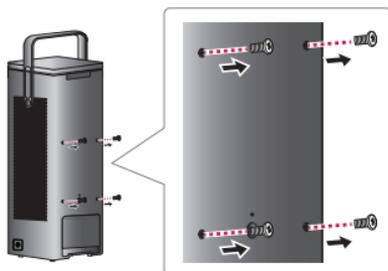
下記のイラストのように、床にプロジェクターを縦置きに設置することができます。

前面投影	天井投影
	
<p>30ページを参照して、イラストのようにミラーを調整し、プロジェクターを水平な床に設置してください。</p>	<p>32ページを参照して、イラストのようにミラーを調整し、プロジェクターを水平な床に設置してください。</p>

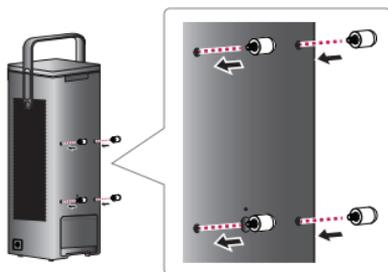
テーブルに設置する

テーブルの上に設置する場合は、次ページのイラストの通り、横置きにして使用してください。

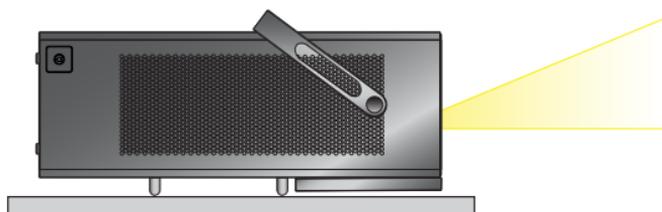
- 1 テーブルに設置する前に、プロジェクター側面のネジを4箇所プラスドライバーで取り外します。



- 2 付属品のテーブル設置用ネジを4本取り付けます。

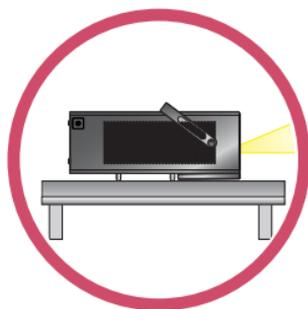


- 3 32ページを参照して、下記のイラストのようにミラーを調整し、プロジェクターをテーブルに水平に設置してください。
ネジを調節して、画面の角度を最大2度まで調整できます。(推奨は縦置きです。)



 **注意**

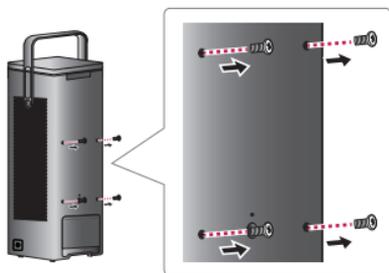
- プロジェクターをテーブルに設置する場合、縦置きにすると、プロジェクターが落下する場合があります。落下によって、製品の故障やケガにつながるおそれがあります。
 - テーブルに設置する場合は水平なテーブルに横置きにしてください。



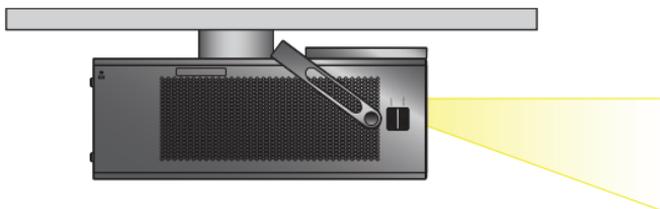
- テーブル設置用のネジを使用しないで横置きに設置すると、筐体やミラーに傷がつく場合があります。
- 上のイラストのように、ハンドルは必ず上に配置してください。
 - 上記イラスト以外にハンドルを配置すると、筐体とハンドルが接触している部分に傷がつく場合があります。

天井に設置する

- 1 天井に取り付ける前に、プロジェクター側面のネジを4箇所プラスドライバーで取り外します。
- テーブルに設置していた場合は、テーブル設置用のネジを取り外してください。(34ページ参照)



- 2 32ページを参照して、イラストの通りミラーを調整し、プロジェクターを天井に水平に設置してください。
天井設置に関する詳細は、プロジェクター用天吊り金具(別売)の取扱説明書を参照してください。



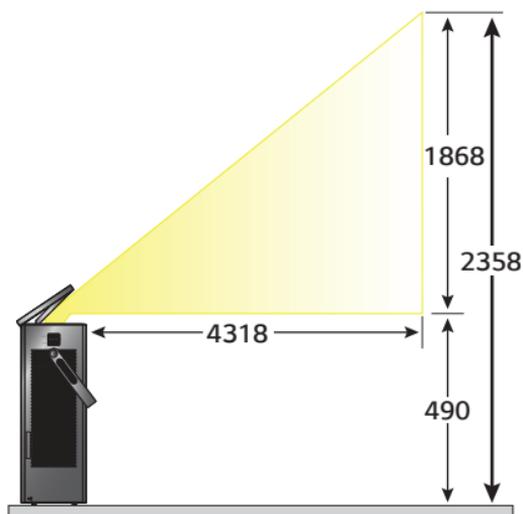
最大画面サイズを使用する

縦横比16:9の150インチ(対角線の長さが3,810mm)対応のプロジェクタースクリーンをご使用ください。

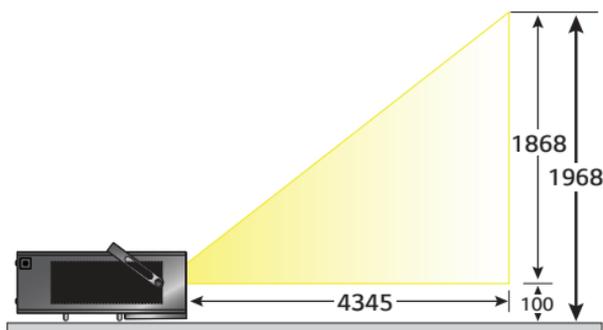
(天井の高さを確認してください。)

[1.2xズーム]

－ 縦置きで投影する場合



－ 横置きで投影する場合

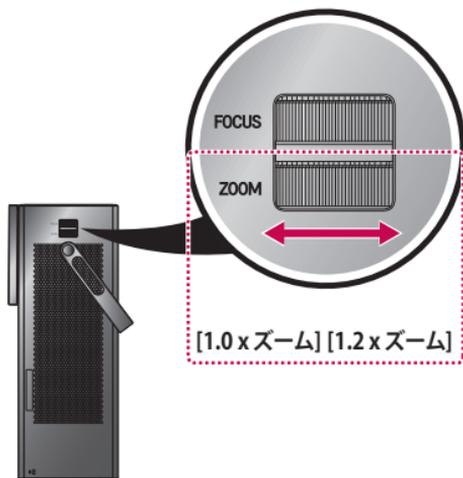
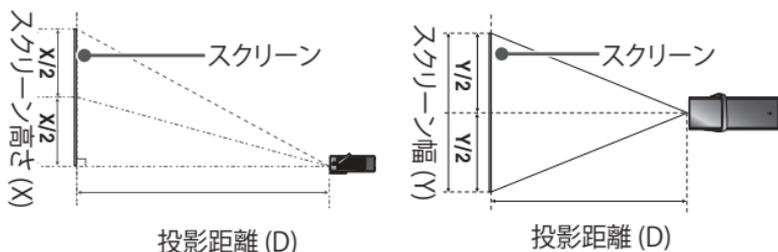


(単位: mm)

スクリーンサイズごとの投影距離

- 1 プロジェクターは安定した水平な場所に設置し、接続機器の近くに設置してください。
- 2 プロジェクターは投影面から適切な距離に設置してください。プロジェクターと投影面の距離によって、投影される映像のサイズが決まります。
- 3 レンズが投影面に対して水平になるようにプロジェクターを配置します。プロジェクターが水平になっていない場合、映像が歪みます。歪みを修正するには、台形補正機能を使用します。
- 4 プロジェクターおよび接続機器の電源コードをコンセントに接続します。

上向き投影の比率: 100 %



✔ ヒント

- 映像が歪んで投影される場合は、スクリーンが正しく設置されているか確認してください。

16:9アスペクト比 [1.2xズーム]				
スクリーンサイズ		スクリーン幅 (Y) (mm)	スクリーン高さ (X) (mm)	投影距離 (D) (mm)
(インチ)	(mm)			
40	1016	886	498	1147
45	1143	996	560	1293
50	1270	1107	623	1432
55	1397	1218	685	1580
60	1524	1328	747	1728
65	1651	1439	809	1872
70	1778	1550	872	2016
75	1905	1660	934	2159
80	2032	1771	996	2303
85	2159	1882	1058	2454
90	2286	1992	1121	2606
95	2413	2103	1183	2746
100	2540	2214	1245	2886
105	2667	2324	1308	3022
110	2794	2435	1370	3157
115	2921	2546	1432	3319
120	3048	2657	1494	3480
125	3175	2767	1557	3621
130	3302	2878	1619	3762
135	3429	2989	1681	3910
140	3556	3099	1743	4059
145	3683	3210	1806	4202
150	3810	3321	1868	4345

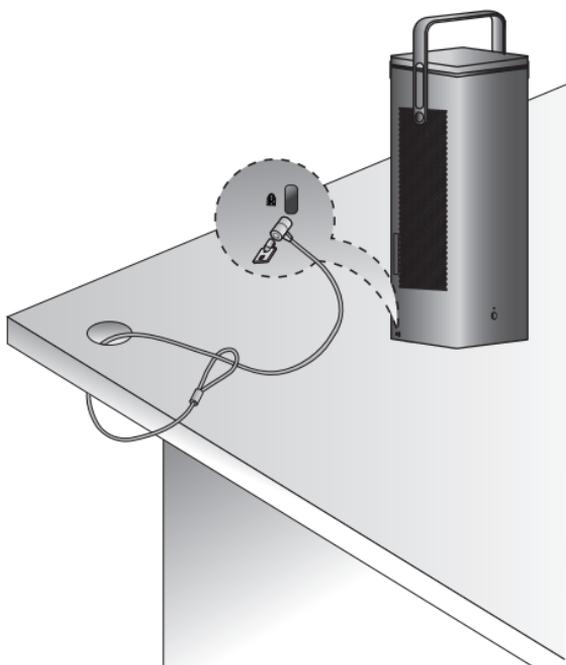
- 上記表の数値は、設置環境によって異なる場合があります。

16:9アスペクト比 [1.0xズーム]				
スクリーンサイズ		スクリーン幅 (Y) (mm)	スクリーン高さ (X) (mm)	投影距離 (D) (mm)
(インチ)	(mm)			
33	847	738	415	1147
38	953	830	467	1293
42	1058	922	519	1432
46	1164	1015	571	1580
50	1270	1107	623	1728
54	1376	1199	675	1872
58	1482	1291	726	2016
63	1588	1384	778	2159
67	1693	1476	830	2303
71	1799	1568	882	2454
75	1905	1660	934	2606
79	2011	1753	986	2746
83	2117	1845	1038	2886
88	2223	1937	1090	3022
92	2328	2029	1141	3157
96	2434	2122	1193	3319
100	2540	2214	1245	3480
104	2646	2306	1297	3621
108	2752	2398	1349	3762
113	2858	2491	1401	3910
117	2963	2583	1453	4059
121	3069	2675	1505	4202
125	3175	2767	1557	4345

- 上記表の数値は、設置環境によって異なる場合があります。

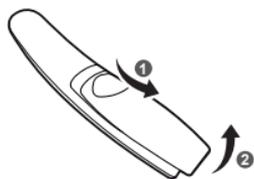
ケンジントンセキュリティシステム

- 本製品は、盗難防止用のケンジントンセキュリティ標準コネクタが付いています。ケンジントンセキュリティシステムのケーブルを、下記のように接続してください。
- ケンジントンセキュリティシステムの詳細な取り付けおよび使用手順については、ケンジントンセキュリティシステムセットに付属の取扱説明書を参照してください。
- ケンジントンセキュリティシステムは、別売です。
- ケンジントンとは
ケンジントンは、ノートPC、その他の電子機器の盗難防止用のセキュリティ製品を提供する会社です。
Webサイト：<http://www.kensington.com>



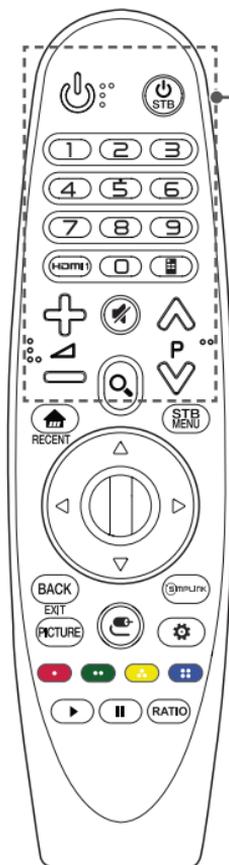
マジックリモコン

プロジェクターの使用中に電池残量不足のメッセージが表示されたら、電池を交換してください。図のように、バッテリーカバーの上部を押してからカバーを下方方向にスライドさせます。新品の適切な種類の電池(1.5V、単三)2本を、+極と-極を正しい方向に合わせてリモコンに挿入します。



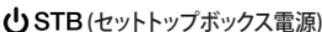
注意

- 新しい電池と古い電池を一緒に使用しないでください。



(電源)

プロジェクターの電源のオンとオフを切り替えます。



STB (セットトップボックス電源)

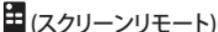
お使いのプロジェクターのマジックリモコンにセットトップボックスを追加すると、セットトップボックスのオン/オフができます。

数字ボタン

数字を入力します。

HDMI 1

入力ソースを[HDMI1]に変更します。



(スクリーンリモート)

スクリーンリモートを表示します。

- [ユニバーサルコントロール]メニューを開きます(一部地域のみ)。



音量を調節します。



(消音ボタン)

消音します。

- (消音ボタン) を長押しすると、[ユーザー補助]メニューが表示されます。

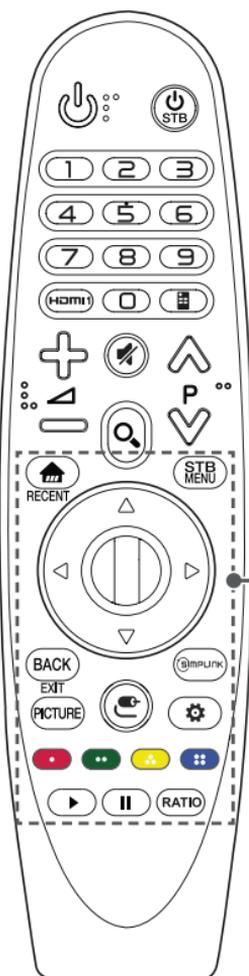


前のページまたは次のページに移動します。



(検索)

映画、その他の動画などのコンテンツの検索、または検索ボックスに文字列を入力したWeb検索を行います。



ホームメニューを表示します。

RECENT*

履歴を表示します。

STB MENU

セットトップボックスの[ホーム]メニューを表示します。
(視聴時にセットトップボックスを使用していない場合は、セットトップボックス画面が表示されます)

△ ▽ ◀ ▶ (上/下/左/右)

メニュー上のカーソルの移動に使用します。ポインタの使用中に△ ▽ ◀ ▶ボタンを押すと、ポインタが画面から消え、マジックリモコンは従来のリモコンと同様の操作ができます。ポインタをもう一度画面に表示させるときは、マジックリモコンを左右に振ってください。

Ⓜ ホイール(OK)

メニューを選択するときは、Ⓜ ホイール(OK)ホイールボタンの中央を押します。ホイールを回転させるとページを移動することができます。

BACK

前の画面に戻ります。

EXIT*

オンスクリーンディスプレイを全てクリアし、プロジェクトの表示に戻ります。

PICTURE

[映像モード]を変更します。

Ⓜ SIMPLINK

SIMPLINK機能を使用できます。

Ⓜ (入力)

入力元を変更します。

- Ⓜ (入力)ボタンを長押しすると、外部入力のすべてのリストが表示されます。

⚙ (クイック設定)

クイック設定にアクセスします。

- ⚙ (クイック設定)ボタンを長押しすると[詳細設定]メニューが表示されます。

カラーボタン

一部のメニューの特定の機能にアクセスします。

(●: 赤、●: 緑、●: 黄、●: 青)

コントロールボタン(▶, ||)

SIMPLINKがサポートしているプレミアムコンテンツ、ビデオコンテンツ、デバイスにアクセスします。

RATIO

ボタンを押すたびに画面のアスペクト比が変わります。

* : ボタンを使用するには、3秒以上長押ししてください。

マジックリモコンの登録方法

マジックリモコンを使用するには、まずリモコンをプロジェクターに登録する必要があります。

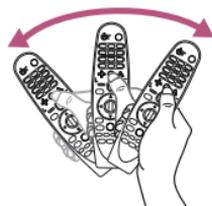
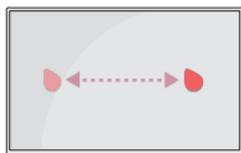
- 1 マジックリモコンに電池を入れ、プロジェクターの電源を入れます。
 - 2 マジックリモコンをプロジェクターに向け、リモコンの  ホイール(OK) を押します。
- マジックリモコンが正しく登録できなかった場合は、プロジェクターの電源を一度オフにしてから再度オンにして、再度お試しください。

マジックリモコンを再登録するには

- 1  ボタンと **BACK** ボタンを5秒間同時に押して、プロジェクターとマジックリモコンのペアリングを解除します。
 - 2 プロジェクターに向けて  ホイール(OK) ボタンを押して、マジックリモコンを登録します。
-  ボタンを長押しすると、マジックリモコンの登録解除と再登録とが一度に行えます。

マジックリモコンの使用

- マジックリモコンを左右に軽く振るか、 (入力) ボタンを押すと、画面上にポインターが表示されます。
- ポインターを一定時間使用しない場合、またはマジックリモコンを平らな面の上に置いた場合は、ポインターが消えます。
- ポインターが滑らかに動作しない場合は、ポインターを画面の端に移動させることでリセットできます。
- マジックリモコンは一般的なリモコンに比べて多機能なため、電池を多く消費します。



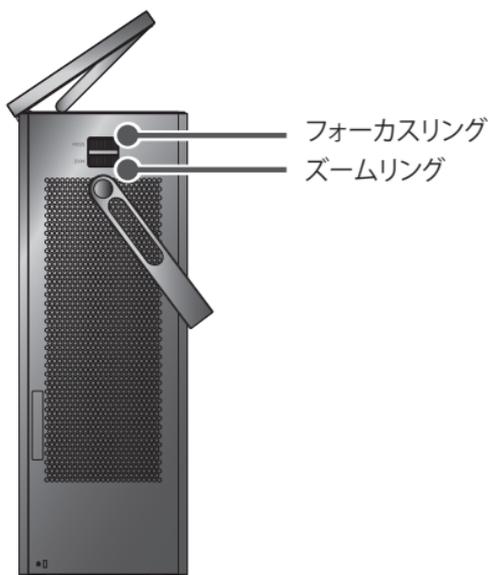
注意

- マジックリモコンは、指定された受信範囲内(10m)でご使用ください。受信範囲外で使用した場合や、受信範囲内に障害物がある場合、通信障害が起きる可能性があります。
- 使用する環境によっては、通信障害が起きる可能性があります。電子レンジやワイヤレスLANなどの機器は、マジックリモコンと同じ周波数帯域(2.4GHz)で動作しています。これにより通信障害が起きる可能性があります。
- ワイヤレスルーター(アクセスポイント)がプロジェクターから1m以内の距離にある場合は、マジックリモコンが正しく機能しないことがあります。ワイヤレスルーターは、プロジェクターから1m以上離してください。
- 電池は分解および加熱しないでください。
- 電池は落下させないでください。電池には強い衝撃を与えないでください。
- 電池を誤った向きで挿入すると、爆発や液漏れの原因となるおそれがあります。

プロジェクターの使用

映像の焦点を調整する

映像が画面に表示されたら、フォーカス(焦点)を映像が鮮明に表示されるよう調節します。



- 映像のフォーカスを調整するには、スクリーンの上部中央を見ながら、フォーカスリングを左右に動かして調整します。映像の左右のピントが合った状態が最適な焦点です。
- 映像のサイズを調整するには、ズームリングを左右に動かして調節します。画面の上下の位置を調節する場合は、プロジェクター底面にある調節足の高さを調整します。

プロジェクターを起動する

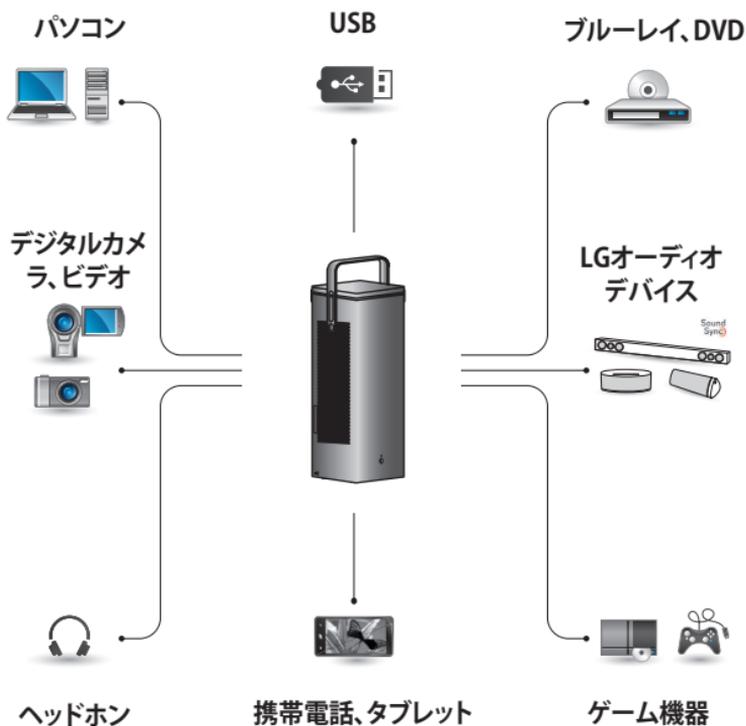
- 1 スタンバイモードの状態では、 (電源) ボタンを押してプロジェクターの電源をオンにします。
- 2  (入力) → [すべての入力] の順に選択して、使用する入力信号を選択します。
- 3 映像表示中に、次のボタンでプロジェクターを操作します。

ボタン	説明
 P	前/次のページに移動します。
	音量を調節します。
 (消音ボタン)	プロジェクターのサウンドをミュートします。

- 4 プロジェクターの電源をオフにするには、 (電源) ボタンを押します。

機器の接続

さまざまな外部デバイスをプロジェクターに接続できます。



HDMI - 49, 50, 51ページ
ヘッドホン - 52ページ
デジタルアンプ - 53ページ
モバイル機器 - 54ページ

HDMI機器に接続する

ブルーレイやDVD、HDレシーバーなどの外部機器をプロジェクターと接続して、接続した入力モードを選択します。

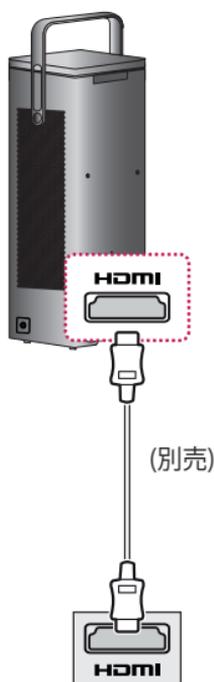
2つのHDMI入力端子ともに、映像と音声データの入力に対応しています。

-  (入力) → [すべての入力] → [HDMI1]/[HDMI2]

HDレシーバー、DVD、または外部デバイスに接続する

HDMIケーブルでデジタル接続して、高品質な映像とサウンドをお楽しみいただけます。

HDMIケーブルで、プロジェクターのHDMI(HDMI入力端子)と、接続デバイスのHDMI出力端子を接続します。



✓ ヒント

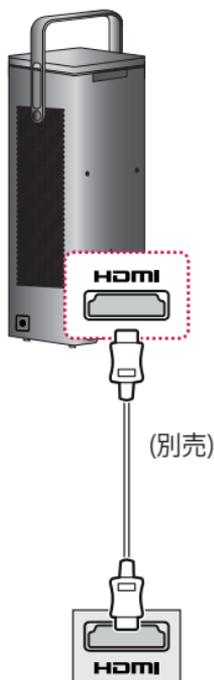
ARC(オーディオリターンチャンネル)

- SIMPLINKとARCをサポートする外部オーディオデバイスを接続する際は、**HDMI2 ARC**ポートを使用する必要があります。
- SIMPLINKとARCをサポートする外部オーディオデバイスとSIMPLINKを高速HDMIケーブルで接続する場合は、その他のオーディオケーブルは不要です。

パソコンに接続する

プロジェクターはプラグアンドプレイに対応しています。PCは自動的にプロジェクターを認識するので、ドライバーをインストールする必要はありません。

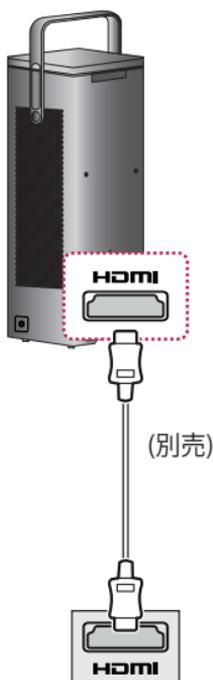
HDMIケーブルで、プロジェクターの**HDMI**(HDMI入力端子)とパソコンのHDMI出力端子を接続します。映像信号と音声信号両方が伝送されます。



ノートパソコンに接続する

プロジェクターをノートパソコンに接続することで、さまざまな機能が使用できます。

HDMIケーブルで、プロジェクターのHDMI(HDMI入力端子)とノートパソコンのHDMI出力端子を接続します。映像信号と音声信号両方が伝送されます。



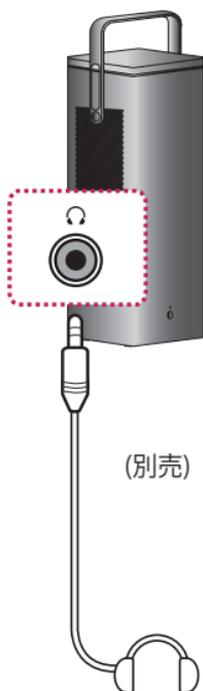
ノートパソコンの出力設定切り換え例

下の表は、出力切り替えの例です。詳細については、お使いのパソコンの取扱説明書の「外部出力」、「外部モニターへの接続」などの項を参照してください。

ブランド	出力切り替え
NEC	[Fn]+[F3]
Panasonic	[Fn]+[F3]
Toshiba	[Fn]+[F5]
IBM	[Fn]+[F7]
Sony	[Fn]+[F7]
Fujitsu	[Fn]+[F10]
LG	[Fn]+[F7]
Samsung	[Fn]+[F4]
Macintosh	起動後コントロールパネルを調整してミラーリングを有効化します。

ヘッドホンを接続する

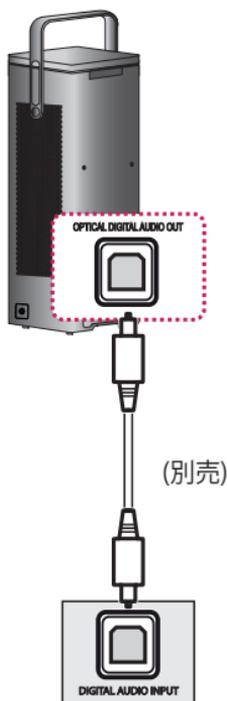
ヘッドホン端子にヘッドホン、イヤホン、外部スピーカー等の音声出力機器を接続して音声を出力することができます。



(別売)

デジタルアンプに接続する

光デジタルケーブルで、デジタルアンプの光デジタル音声入力端子とプロジェクターの**OPTICAL DIGITAL AUDIO OUT**を接続します。デジタルコンバーター付きのアンプの出力は、オーディオフォーマットの設定が必要です。ホームシアターへの接続にHDMIケーブルを使用する際や、光出力を外部オーディオデバイスに接続する場合は、[スピーカー設定]を[外部スピーカー (光デジタル音声/HDMI ARC)]に設定します。プロジェクター、ホームシアター、外部オーディオデバイスのスピーカーが同時に作動しているときは、エコーが発生します。



✓ ヒント

- 接続するオーディオデバイスの設定は、オーディオデバイスの取扱説明書を参照してください。
- 本機を別のデバイスに接続する際は、すべてのデバイスの電源をオフにしてください。
- 本製品のオーディオ出力は広帯域のオーディオ帯域幅を持つため、レシーバーの音量を予め適切に調整する必要があります。予期しない高い周波数でスピーカーが損傷することがあります。
- プロジェクターの**OPTICAL DIGITAL AUDIO OUT**端子をデジタルアンプの光デジタル音声入力端子に接続し、同時にプロジェクターのAV IN 端子をデジタルアンプのアナログオーディオ出力端子に接続している場合、閉回路により音の揺れが生じることがあります。これを避けるには、2つのうちのいずれかの接続を取り外してください。(これはホームシアターのデバイスも該当します)

モバイル機器に接続する

- (入力) → [すべての入力] → [HDMI1]/[HDMI2]

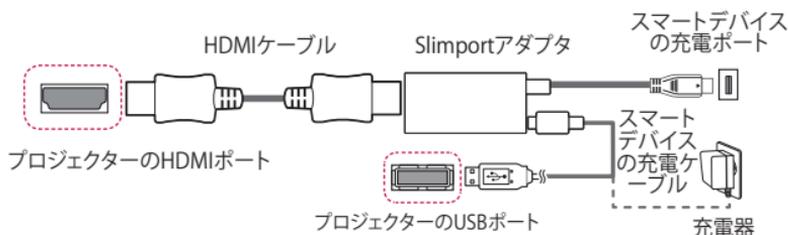
モバイル機器とプロジェクターのHDMI入力端子を各種ケーブルやアダプターで接続して、接続した入力モードを選択します。2つのHDMI入力端子共に接続できます。

ケーブル接続する条件や指示事項は接続デバイスの取扱説明書を参照するか、製造メーカーにお問い合わせください。

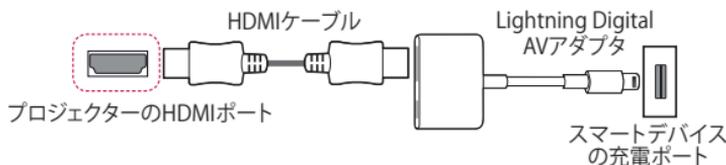
サポートされるスマートデバイスは各製造元の事情により変更される場合があります。

モバイル機器の接続例

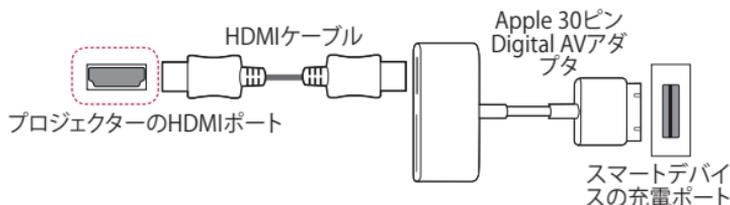
Slimport対応デバイス



Apple Lightning Digital AVアダプター対応デバイス



Apple 30ピン Digital AVアダプター対応デバイス



- イラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- ケーブル、アダプターは別売です。

メンテナンス

最高の状態に保てるように、プロジェクターを定期的にメンテナンスしてください。

お手入れ

レンズのお手入れ

- レンズの表面にほこりや汚れが付いている場合は、レンズを清掃してください。
- エアスプレーか、清掃用クロスでレンズを拭いてください。
- ほこりや汚れを落とすには、エアスプレーを使用するか、綿棒またはやわらかい布に少量の洗浄液をしみ込ませてレンズを軽く拭いてください。
- 洗浄液のスプレーをレンズに直接噴射しないでください。洗浄液がレンズ内に入るおそれがあります。

筐体のお手入れ

- 筐体を清掃するときは、電源コードを抜いてください。
- ほこりや汚れを落とすには、研磨剤が含まれていない、糸くずの出ない乾いた布でやさしく拭いてください。
- アルコール、ベンゼン、シンナーなどの高揮発性溶剤は使用しないでください。

トラブルシューティング

以下の内容を確認してください。以下の内容にしたがって操作しても症状が改善されない場合はLG Electronics Japanカスタマーセンターにご相談ください。

全般

問題	解決法
プロジェクターの電源を入れてから映像が完全に表示されるまで時間がかかる。	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクター起動直後にノイズが発生することがあります。起動後しばらくするとノイズはなくなります。

画質

問題	解決法
水平または垂直に揺れる線、および網目模様が瞬間的に表示される。	<ul style="list-style-type: none"> 強い電氣的な干渉がある場合、このような問題が発生する可能性があります。携帯電話や電動工具などの電子機器、およびその他の家電製品の電源はオフにしてください。
HDMI®接続しているとき、表示されない、または映像が不鮮明。	<ul style="list-style-type: none"> HDMI®ケーブルの仕様を確認してください。HDMI認証されていないHDMI®ケーブルを使用すると、適切に表示されないことがあります。 すべてのケーブルがしっかりと接続されていることを確認してください。しっかりと接続されていないと、映像が適切に表示されないことがあります。
USBストレージデバイスで動作しない。	<ul style="list-style-type: none"> USBストレージデバイスおよびケーブルがバージョン2.0以上であることを確認してください。

サウンド

問題	解決法
映像が表示されているのに、音声が聞こえない。	<ul style="list-style-type: none"> • プロジェクターの音声出力の設定が正しいか確認してください。 • PCとアナログ接続をしている場合、DVI変換を使用して接続している場合、音声データは伝送されません。別途音声ケーブルを接続してください。
HDMI/USBに接続しているとき、音声が聞こえない。	<ul style="list-style-type: none"> • ハイスピードHDMI®ケーブルを使用していることを確認してください。 • USBストレージデバイスおよびケーブルがバージョン2.0以上であることを確認してください。 • 通常の音楽(*mp3)ファイルのみを使用してください。

PC接続の問題

問題	解決法
PC接続時に映像が表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> • PCとプロジェクターがしっかりと接続されていることを確認してください。 • リモコンでプロジェクターの電源をオフにして再度オンにしてください。 • プロジェクターをオンにした状態でPCを再起動してください。 • 解像度がPC入力用に正しく設定されているか確認してください。 • HDMIケーブルを再度接続してください。
PCとHDMI接続したとき、音声が聞こえない。	<ul style="list-style-type: none"> • グラフィックカードがHDMI音声出力に対応しているか確認してください(DVI変換で接続している際は、別の音声ケーブルを接続する必要があります)。 • PCの音量が適切か確認してください。
PCに接続すると、表示が部分的に欠損したり、偏ったりする。	<ul style="list-style-type: none"> • PC入力をサポートするように解像度を設定してください(それでも解決しない場合は、PCを再起動してください)。

マイメディアでのムービーの再生に関する問題

問題	解決法
動画リストのファイルを視聴できない。	<ul style="list-style-type: none"> • USBストレージデバイスのファイルがPCで読み取れるか確認してください。 • ファイル拡張子がサポートされているか確認してください。
「このファイルは無効です」というメッセージが表示されるか、音声聞こえるのに映像表示が正常でない。	<ul style="list-style-type: none"> • PCの動作再生ソフトウェアでファイルが正常に再生されることを確認してください（ファイルが破損していないか確認します）。 • 解像度がサポートされているか確認してください。 • ビデオと音声のコーデックがサポートされていることを確認してください。 • フレームレートがサポートされていることを確認してください。
「音声サポートされていません」というメッセージが表示されるか、映像表示が正常なのに音声が正常でない。	<ul style="list-style-type: none"> • PCの動作再生ソフトウェアでファイルが正常に再生されることを確認してください（ファイルの損傷を確認します）。 • 音声コーデックがPCでサポートされているかを確認してください。 • ビットレートまたはサンプリングレートがサポートされていることを確認してください。
字幕が表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> • PCの動作再生ソフトウェアでファイルが正常に再生されることを確認してください（ファイルが破損していないか確認します）。 • ビデオファイルと字幕ファイルのファイル名が一致しているか確認してください。 • ビデオファイルと字幕ファイルが同一のフォルダーにあることを確認してください。 • 字幕ファイルの形式がサポートされていることを確認してください。 • 字幕の言語がサポートされていることを確認してください（字幕ファイルを[メモ帳]で開いて言語を確認できます）。

- イラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- サポートに関する情報は、別紙の「プロジェクター 対応窓口のご案内」または、以下の方法でご参照ください。
- SETTINGSボタンを押してメインメニューを開き、[機器設定] → [このプロジェクターについて]

仕様

モデル	HU80KS-JP	
解像度(ピクセル)	3840(横)×2160(縦) ¹⁾	
画面サイズ	16:9(横:縦)	
投影距離(スクリーンサイズ)	1147mm～4345mm (1016mm～3810mm [40インチ～150インチ])	
上向き投影の比率	100%	
電源	AC 100V, 50/60Hz	
消費電力	250W	
音声出力	7W + 7W	
高さ	470mm(脚なし) / 474mm(脚付き)	
幅	165mm	
奥行	165mm	
重量	6.7kg	
USBデバイス	USB1 (USB 3.0): 5V, 1.5A (最大) USB2 (USB 2.0): 5V, 0.5A (最大)	
環境条件	温度	
	動作	0°C～40°C
	保管	-20°C～60°C
	相対湿度	
	動作	0%～80%
	保管	0%～85%

- このマニュアルの内容は、製品機能のアップグレードにより予告なく変更することがあります。

1) XPR(拡張ピクセル解像度)映像処理によって投影された830万画素の4K UHD解像度。

HDMI (DTV)のサポートモード

解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
640 x 480	31.46	59.94
640 x 480	31.5	60
720 x 480	31.47	59.94
720 x 480	31.5	60
720 x 576	31.25	50
1280 x 720	44.96	59.94
1280 x 720	45	60
1280 x 720	37.5	50
1920 x 1080i	28.12	50
1920 x 1080i	33.72	59.94
1920 x 1080i	33.75	60
1920 x 1080p	26.97	23.97
1920 x 1080p	27	24
1920 x 1080p	33.71	29.97
1920 x 1080p	33.75	30
1920 x 1080p	56.25	50
1920 x 1080p	67.43	59.94
1920 x 1080p	67.5	60
1920 x 1080p	112.5	100
1920 x 1080p	134.86	119.88
1920 x 1080p	135	120
3840 x 2160p	53.95	23.98
3840 x 2160p	54	24
3840 x 2160p	56.25	25
3840 x 2160p	61.43	29.97
3840 x 2160p	67.5	30

解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
3840 x 2160p	112.5	50
3840 x 2160p	134.86	59.94
3840 x 2160p	135	60
4096 x 2160p	53.95	23.98
4096 x 2160p	54	24
4096 x 2160	56.25	25
4096 x 2160	61.43	29.97
4096 x 2160	67.5	30
4096 x 2160	112.5	50
4096 x 2160	134.86	59.94
4096 x 2160	135	60

HDMI (PC) のサポートモード

解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
640 x 350	31.46	70.09
720 x 400	31.46	70.08
640 x 480	31.46	59.94
800 x 600	37.87	60.31
1024 x 768	48.36	60
1360 x 768	47.71	60.01
1152 x 864	54.34	60.05
1280 x 1024	63.98	60.02
1920 x 1080	67.5	60
1920 x 1080	135	120
3840 x 2160	54	24
3840 x 2160	56.25	25
3840 x 2160	67.5	30
4096 x 2160	53.95	23.97
4096 x 2160	54	24

- プロジェクターに無効な信号が入力されると、画面に正しく表示されないか、[信号なし]や[無効なフォーマット]などのメッセージが表示されます。
- プロジェクターはプラグアンドプレイ機能(PCモニターの自動認識)として、DDC1/2Bタイプをサポートしています。
- 3840 x 2160が、PCモードでは最高の画質として推奨されます。

Wireless モジュール (LGSBWAC72)仕様

Wireless LAN (IEEE 802.11a/b/g/n/ac)	
使用周波数	無線出力
2400 - 2483.5MHz 5180MHz, 5190MHz, 5200MHz, 5210MHz, 5220MHz, 5230MHz, 5240 MHz, 5260MHz, 5270MHz, 5280MHz, 5290MHz, 5300MHz, 5310MHz, 5320MHz, 5500MHz, 5510MHz, 5520MHz, 5530MHz, 5540MHz, 5550MHz, 5560MHz, 5580MHz, 5590MHz, 5600MHz, 5610MHz, 5620MHz, 5630MHz, 5640MHz, 5660MHz, 5670MHz, 5680MHz, 5700MHz	802.11a: 13dBm 以下 802.11b: 13.5dBm 以下 802.11g: 13.5dBm 以下 802.11n - 2.4GHz: 13.5dBm 以下 802.11n - 5GHz: 16.5dBm 以下 802.11ac - 5GHz: 15.5dBm 以下
Bluetooth	
使用周波数	無線出力
2400 - 2483.5MHz	8.5dBm

- 電波法により5.2GHz帯(W52)高出力データ通信システムの基地局又は陸上移動局と通信する場合を除き、5.2GHz帯及び5.3GHz帯(W52/W53)の屋外使用は禁止されています。



- 1 Wi-Fi
この表示のある無線機器は、2.4GHz帯を使用しています。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用し、与干渉距離は40mです。

- 2 Bluetooth
この表示のある無線機器は、2.4GHz帯を使用しています。変調方式としてFH-SS方式を採用し、与干渉距離は10mです。

<本製品の使用上の注意事項>

本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 1 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。
- 2 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談して下さい。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、別紙「プロジェクター 対応窓口のご案内」記載のカスタマーセンターまでご相談ください。

オープンソースソフトウェア通知情報

本製品に搭載されているGPL、LGPL、MPL、およびその他のオープンソースのライセンスのもとで開発されたソースコードを取得するには、<http://opensource.lge.com>をご参照ください。

ソースコードをはじめ、該当するすべてのライセンスの内容や著作権の表示、保障責任がないという表示をダウンロードできます。

また、LGエレクトロニクスから有料にてCD-ROMのオープンソースコードを提供しております。料金にはメディアの代金、配送料、手数料などを含みます。ご利用の際は、opensource@lge.comまでメールでお問い合わせください。

本サービスは製品の最後の発送から3年間有効です。本情報を受け取られた方はどなたでも本サービスをご利用いただけます。

記号

～	交流(AC)を表します。
≡	直流(DC)を表します。
Ⓜ	クラスIIの装置を表します。
⏻	スタンバイを表します。
⏻	「オン」(電源)を表します。
⚡	危険な電圧を表します。



プロジェクターのモデルおよびシリアル番号は、プロジェクターの背面または側面に記載されています。保守が必要になった場合に備えて、下記にご記入ください。

モデル _____

シリアル番号 _____



LG プロジェクター について

表示されている図は、実際のプロジェクターと異なる場合があります。
実際のプロジェクターのOSD(オンスクリーンディスプレイ)は、このマニュアルで
示す内容と多少異なる場合があります。

目次

LG プロジェクターについて	4	各種コンテンツの使用法	20
ホームのチュートリアル	4	LGコンテンツストア	20
– LG プロジェクターのホーム機能の使用	4	ウィッシュリストの作成	21
ネットワーク設定	8	– マイコンテンツの使用	21
– ネットワーク設定	8	アカウント作成	22
プロジェクターの操作方法	10	– LGアカウントの作成	22
スクリーンリモートの使用	10	アカウント管理	23
ユニバーサルコントロールの設定	12	– LGアカウントの管理	23
SIMPLINK (HDMI-CEC)	13	アプリとコンテンツの使用	24
– SIMPLINKの使用	13	– アプリのインストール	24
LG TV Plusアプリの使用	15	コンテンツの検索	25
マジックモバイル接続	17	– 検索	25
– マジックモバイル接続の使用	17	– コンテンツの検索	25
キーボードとマウスの使用	18	他のデバイスファイルの再生	26
– USB有線/無線マウスの使用	18	写真と動画	26
– USB有線/無線キーボードの使用	18	– 写真および動画の表示	26
ゲームパッドの使用	19	– 写真プレーヤー	27
		– ビデオプレーヤー	29
		– サポートされている動画ファイル	31
		– 動画の再生に関する注意事項	33
		音楽	34
		– 音楽の再生	34
		– 音楽プレーヤーの使用	35

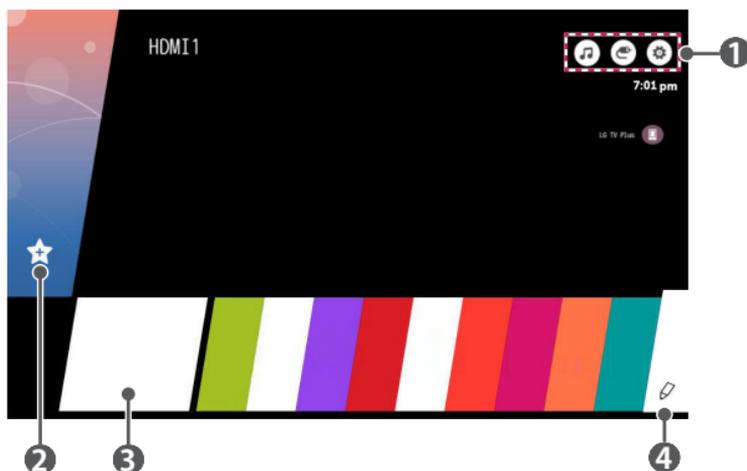
ファイルビューアー	38	設定一覧のツアー	60
– ファイルの表示	38	クイック設定	60
– ファイルビューアー画面	39	– 設定機能をすばやく使用するには	60
USBの接続	41	映像設定	61
– USBストレージデバイスの使用上のヒント	42	音声設定	68
スマートフォンの共有	43	ネットワーク	75
– スマートフォンのコンテンツの共有	43	機器設定	77
スマートフォンの表示	45	[ロック]設定	85
– モバイルデバイスの画面をプロジェクターに表示するには	45	ユーザー補助	86
PCの共有	46	ソフトウェアの更新	87
– コンテンツ共有とは	46	トラブルシューティング	88
PCの表示	49	正常に動作しない	88
– PCの画面をプロジェクターに表示するには	49	画面の問題	89
スマートプロジェクターの利点	50	音声の問題	90
プロジェクター画面の拡大	50	PC接続の問題	91
– 拡大画面の位置移動	51	写真&動画および動画の再生の問題	92
ズーム録画	52	ネットワーク接続の問題	94
– ズーム録画をする	52	LGアカウントの問題	96
[マイスタート]の使用	54	コンテンツの問題	97
インターネットの利用	56	インターネットブラウザの問題	97
– ウェブブラウザの使用	56		
お知らせ	59		
– お知らせの使用	59		

LG プロジェクターについて

ホームのチュートリアル

LG プロジェクターのホーム機能の使用

リモコンの🏠 ボタンを押すと、ホーム画面が開きます。よく使用するアプリが1つの画面上に表示されるので、いつでも必要なアプリを使用できます。

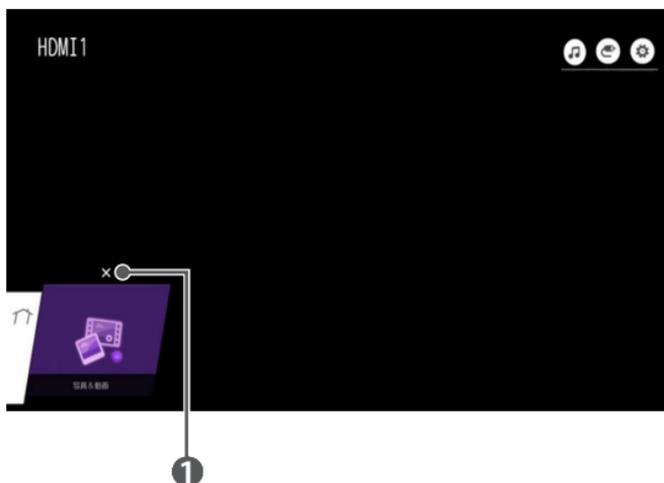


説明	
①	 音楽を聴きながらプロジェクターを視聴することができます。
	 別の入力に切り替えるか、設定を変更できます。
	 プロジェクターの設定を簡単に変更できます。 詳細なセットアップを行うには、  を選択します。
②	検索した動画を保存して、お気に入りの動画を容易に再生できます。(この機能を選択すると、[LG Content Store]に移動します。)

	説明
③	最近使用したアプリが表示されます。最近使用したアプリの一覧を開くには、この項目を選択してから、 Ⓞ [ホイール (OK)] または Ⓞ OK ボタンを長押しします。最近使用したすべてのアプリを一覧に表示できます。
④	プロジェクターにインストールしたすべてのアプリを実行、移動、および削除できます。

最新リストの使用

最近使用したアプリの一覧を表示するには、リモコンの🏠ボタンを長押しするか、ホーム画面で最近使用した項目を長押しします。最近使用したすべてのアプリを実行または終了できます。



	説明
①	アプリを終了します。

6 LG プロジェクターについて

アプリの管理

プロジェクターにインストールされているすべてのアプリ一覧の表示、位置の変更、削除ができます。



- 1 編集するアプリを選択して、リモコンの⓪[ホイール(OK)]または⓪OK ボタンを長押しします。アプリ編集モードが有効になります。
- 2 アプリを目的の位置に移動するには、その位置に移動して、⓪[ホイール(OK)]または⓪OK ボタンを押します。アプリを削除するには、アプリの上にあるXを選択します。
 - 必要な数だけアプリを移動および削除してから、編集モードを終了します。
 - リモコンの◀▶ボタンを使用してもアプリを移動できます。
- 3 編集が完了したら、[完了]をクリックして、アプリ編集モードを終了します。
 - アプリによっては変更できないものもあります。

現在の機能の停止



- 1 リモコンの🏠ボタンを押します。
- 2 リモコンで画面左上隅にあるアプリケーション名を選択すると、[閉じる]アイコンが表示されます。
- 3 アプリケーション名の横に表示される[閉じる]アイコンを選択して、使用中の機能を終了します。

ネットワーク設定

ネットワーク設定

ネットワークの設定を行う場合、オンラインコンテンツやアプリケーションなどのさまざまなサービスを使用できます。

有線ネットワークの設定

- 1 プロジェクターのLANポートとルーターをLANケーブルで接続します。ルーターを前もってインターネットに接続しておく必要があります。
 - 2 リモコンの  (Q.設定) ボタンを押して、 → [ネットワーク] → [有線ネットワーク接続] を選択します。これで、有線ネットワーク接続が開始されます。
- ルーターがDHCPに対応している場合、プロジェクターをLANケーブルでネットワークに接続すると、プロジェクターは自動的にネットワークに接続されます。

無線ネットワークの設定

- 1 インターネットに接続されたルーターの電源をオンにします。
- 2 リモコンの  (Q.設定) ボタンを押して、 → [ネットワーク] → [無線ネットワーク接続] を選択します。これで、無線ネットワーク接続が開始されます。
- 3 ネットワーク検索が完了すると、接続に使用できるネットワークの一覧が表示されます。
- 4 接続するネットワークを選択します。無線ルーターがパスワードで保護されている場合は、ルーターに設定されたパスワードを入力します。

ネットワークの設定の警告

- RJ45コネクタ、10Base-Tまたは100Base-TX対応、カテゴリ5以上のLANケーブルを使用します。
- モデムをリセットすると、一部のネットワーク接続の問題が解消される場合があります。プロジェクターの電源を一度オフにし、一度ケーブルを抜いて、再度接続し直し、プロジェクターの電源をオンにすると問題が解決します。
- ネットワーク接続の問題、ネットワーク接続によって生じた不具合、故障、エラーについては保証の対象外です。
- ネットワーク設定やインターネットサービスプロバイダの仕様によっては、ネットワーク接続が正しく機能しない場合があります。
- DSLサービスにはDSLモデムを使用する必要があり、ケーブルサービスには、ケーブルモデムを使用する必要があります。限られた数のネットワーク接続しか利用できない場合があるため、インターネットサービスプロバイダとの契約によっては、プロジェクターのネットワーク設定を使用できないことがあります（契約によって、回線あたり1台の機器しか使用が許可されていない場合、すでに接続されているPCしか使用できません）。
- 無線ネットワークは2.4 GHzの周波数を使用している他の機器（モバイルデバイス、Bluetoothデバイス、電子レンジ）により干渉を受けることがあります。また、5 GHzの周波数を使用しているときも干渉が起こることはあります。
- 無線通信の環境や無線機器とプロジェクターの配置によっては、通信速度が遅くなる場合があります。
- ローカルホームネットワーク全体をオフにしていない場合、一部の機器で過剰なトラフィックが発生することがあります。
- ルーター（アクセスポイント）が無線接続に対応している必要があります。またルーターの無線接続機能を有効にする必要があります。サービスプロバイダが無線接続をサポートしているかは、サービスプロバイダに問い合わせてください。
- SSIDとルーターのセキュリティ設定を確認してください。SSIDとルーターのセキュリティ設定については、ルーターの取扱説明書を参照してください。
- ネットワーク機器（有線/無線回線共有、ハブ）が正しく設定されていない場合、プロジェクターの動作が遅くなったり、正しく動作しない場合があります。ネットワーク機器の取扱説明書を参照の上、ネットワークを正しく接続、設定してください。
- 接続方法は、ルーターのメーカーによって異なる場合があります。

プロジェクターの操作方法

スクリーンリモートの使用

プロジェクター画面に表示されているスクリーンリモートを使用して、プロジェクターに接続されている外部デバイスを操作できます。

- 1 マジックリモコンの  ボタンを押します。
- 2 マジックリモコンで、プロジェクター画面に表示されているスクリーンリモートの希望するボタンを選択します。



説明	
①	<p>プロジェクターに接続されているデバイスの[デバイスコネクター]を設定します。</p> <p>デバイスを選択すると、スクリーンリモートがそのデバイスのリモコンになります。</p> <p>サウンドバーが接続されている場合、スクリーンリモートはサウンドバーのリモコンとして使用できます。</p>
②	<p>選択されたデバイスに適しているボタンが表示されます。</p>
③	<p>プロジェクター画面をキャプチャーできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [写真&動画]アプリでキャプチャーされた画像を閲覧・削除できます。
④	<p>リモコンのボタンがさらに表示されます。</p>
⑤	<p>[デバイスコネクター]アプリを起動できます。ユニバーサルリモコンを設定できます。</p>
⑥	<p>スクリーンリモートの位置を変更できます。</p>

- この機能はマジックリモコンでのみ使用できます。
- スクリーンリモートに表示されるボタンの種類は、接続されているデバイスの種類によって異なります。

ユニバーサルコントロールの設定

マジックリモコンまたは付属のリモコンを使用して、セットトップボックス、ブルーレイプレイヤー、またはホームシアターなどのデバイスを操作できます。

- 1 設定するデバイスがプロジェクターに接続されているか確認してください。
- 2 リモコンの  ボタンを押し右上に表示されている  を選択します。(またはリモコンの  ボタンを押します。)
- 3 **[すべての入力]** → **[入力]** の順に選択します。
- 4 **[入力]** で、デバイスが接続されている入力モードを選択します。
- 5 **[デバイスコネクタ]** を押し、ユニバーサルコントロールを設定できます。案内に従って設定を完了させてください。
 - ユニバーサルコントロールの設定を変更またはキャンセルするには、 → **[すべての入力]** から **[ユニバーサルコントロールの編集]** を選択します。
 - また、 → **[デバイスコネクタ]** からユニバーサルコントロールを設定することも可能です。
 - これはマジックリモコンまたは付属のリモコンでのみ行えます。(付属のリモコンはモデルごとに異なります。)
 - マジックリモコンは別売です。必要に応じて別途お買い求めください。
 - 設定を変更する際、変更するデバイスの電源がオンになっていることを確認してください。
 - 1種類につき1つのデバイスを設定できます。
 - ユニバーサルコントロールを設定する前にネットワークに接続した場合、対応している製造元リストの最新アップデートが利用できるようになります。
 - 外部デバイスのモデルによって、一部のボタンが正常に動作しない場合があります。
 - スムーズな動作のためには、デバイスをプロジェクターの近くに設置してください。
 - デバイスの前に障害物があると、信号を正常に受信できない場合があります。デバイスをテレビラックなどに収納している場合は、扉を開けてください。

SIMPLINK (HDMI-CEC)

SIMPLINKの使用

HDMI経由で接続したさまざまなマルチメディア機器を、プロジェクターのリモコンで操作することができます。

- 1 HDMIケーブルで、SIMPLINK HDMI出力ポートをプロジェクターのHDMI INポートに接続します。
 - 2 リモコンの  (Q.設定) ボタンを押して、 → [機器設定] → [SIMPLINK (HDMI-CEC)] を選択します。
 - 3 [SIMPLINK (HDMI-CEC)] を [オン] に設定します。
 - 4 [自動電源] 設定を [オン] または [オフ] に設定します ([自動電源] を [オン] に設定した場合、SIMPLINK に接続された機器の電源をオンにすると、プロジェクターの電源もオンになります。プロジェクターの電源をオフにすると、機器の電源もオフになります)。
 - 5 接続された機器の電源をオンにします。プロジェクターが機器に自動的に接続すると、入力が切り替わります。機器がプロジェクターに自動的に接続されない場合は、 (入力) ボタンをクリックします。
- この機能は、 SIMPLINK ロゴが付いた機器でのみ機能します。外部機器の SIMPLINK ロゴを確認します。機器が必要な仕様を満たしていない場合、機器の使用で問題が発生することがあります。
 - SIMPLINK を使用するには、CEC (Consumer Electronics Control) 機能対応高速 HDMI® ケーブルが必要です。高速 HDMI® ケーブルのピン13が、機器間のデータ転送に使用されます。
 - HDMI ケーブルで接続した外部オーディオ機器に音声を出力する場合は、[SIMPLINK (HDMI-CEC)] を [オン] に設定します。

サポートされているSIMPLINK機能

- **インスタント再生**
マルチメディア機器を起動すると、何も制御しなくても、機器のコンテンツをプロジェクターですぐに視聴できます。
- **プロジェクターのリモコンを使用した機器の操作**
プロジェクターのリモコンでマルチメディア機器を制御して、コンテンツを視聴できます。
 - マジックリモコンのポインタ機能の動作が制限される場合があります。
- **主電源オフ**
[SIMPLINK (HDMI-CEC)]設定で[自動電源]を[オン]に設定した場合、プロジェクターの電源をオフにすると、SIMPLINKでプロジェクターに接続されている機器の電源もオフになります。同様に、SIMPLINKでプロジェクターに接続されている機器の電源をオフにすると、プロジェクターの電源もオフになります。
 - この機能は特定の機器でのみ使用可能です。
- **主電源オン**
[SIMPLINK (HDMI-CEC)]設定で[自動電源]を[オン]に設定した場合、SIMPLINKに接続された機器の電源をオンにすると、プロジェクターの電源もオンになります。
 - [SIMPLINK (HDMI-CEC)]を[オフ]に設定した場合、[自動電源]を[オン]に設定することはできません。

LG TV Plusアプリの使用

モバイルデバイスにインストールしたアプリを使用して、プロジェクターの各種機能を操作することができます。

- 1 各モバイルデバイスのOS(オペレーティングシステム)に応じて、Apple App Storeまたは Google Play ストアからLG TV Plusアプリをダウンロードします。
- 2 リモコンの (Q.設定) ボタンを押して、 → [ネットワーク] を選択します。
- 3 [LG Connect Apps]を[オン]に設定します。
- 4 プロジェクターとモバイルデバイスを同じWi-Fiネットワークに接続します。
- 5 モバイルデバイスでLG TV Plusアプリを起動します。
- 6 [開始]ボタンをタップして、モバイルデバイスに接続可能なプロジェクターをスキャンします。
- 7 目的のプロジェクターを検索結果の一覧から選択します。プロジェクター画面にPINコードが表示されます。
- 8 LG TV PlusアプリでPINコードを入力して、モバイルデバイスとプロジェクターをペアリングします。
- 9 モバイルデバイスの画面の各ボタンをタップして、プロジェクターを操作できるようになります。

16 プロジェクターの操作方法

	説明
コントロール	マジックリモコンのポインタや矢印キーと同じ機能が使用できます。
ライブテレビ	リモコンを使用せずに、音量をはじめ各種調整ができます。
テレビメニュー	プロジェクターにインストールされているアプリを開いたり、入力切替など、各種機能の設定を行うことができます。

- アプリの画面と機能は予告なく変更、更新されることがあります。

マジックモバイル接続

マジックモバイル接続の使用

マジックモバイル接続を使用すると、モバイルデバイスに保存されているコンテンツを共有してプロジェクターで視聴することができます。

- Androidモバイルデバイスは、Android 5.0(Lollipop)またはそれ以降のAndroidでの使用をお勧めします。

マジックモバイル接続を使用したモバイルデバイスの接続

次のガイドに従って接続を設定します。

- 1 モバイルデバイスに[LG TV Plus]アプリをインストールします。
 - 2 プロジェクターとモバイルデバイスを同じネットワークに接続します。
 - 3 [LG TV Plus]アプリを実行し、画面に表示される指示に従って、プロジェクターへの接続を設定します。
 - 4  ボタンを押すと、接続されているモバイルデバイスの一覧が画面の右側に表示されます。
 - 5 接続するモバイルデバイスを選択します。
- AndroidOSのモバイルデバイスは、初回接続が確立された後、ネットワークゾーン内に入ると自動的に再接続を試みます。

マジックモバイル接続を使用したコンテンツの共有

モバイルデバイスに保存されているコンテンツを共有し、プロジェクターで視聴することができます。

- 1 モバイルデバイスにインストールした[LG TV Plus]アプリを実行します。
 - 2 プロジェクターで目的のコンテンツを設定します。
- サポートされる機能はモバイルデバイスのオペレーティングシステムのバージョンによって異なります。

キーボードとマウスの使用

USB有線/無線マウスの使用

マウスをUSBポートに接続します。マウスを使用してプロジェクターの画面上でポインターを移動したり、目的のメニューを選択したりします。

- マウスの右ボタンと特殊なボタンは機能しません。
- 無線USBマウス/キーボードの使用感は、距離や無線の状況に影響を受ける可能性があります。

USB有線/無線キーボードの使用

キーボードをUSBポートに接続します。接続したキーボードデバイスでテキストを入力できます。

- 一部の画面には、テキストを入力できません。
- LG製プロジェクターとの互換性について検査済みの製品を使用することをお勧めします。
 - Logicool® K360、Logicool® K400、Logicool® K750、LG Electronics MKS-1200
- 言語切り替えキー、または右側のAltキーを押すと、入力言語を変更できます。また、Ctrlキーとスペースバーを同時に押しても変更できます。
- 無線USBキーボードの使用は、使用範囲やワイヤレス環境に影響を受ける可能性があります。
- 文字入力領域にテキストを入力するには、プロジェクター画面上のソフトウェアキーボードまたはUSBキーボードを使用してください。

ゲームパッドの使用

ゲームパッドが必要なゲームの場合は、ゲームパッドをプロジェクターのUSBポートに接続します。

- LG製プロジェクターとの互換性について検査済みのゲームパッドを使用することをお勧めします。
 - Logicool® F310、Logicool® F510、Logicool® F710、Logicool® Rumblepad™ 2、Logicool® Cordless Rumblepad™ 2、Logicool® Dual Action™ゲームパッド、Microsoft Xbox 360™コントローラー（有線）、ソニー PlayStation®3 コントローラー

各種コンテンツの使用法

LGコンテンツストア

教育、エンターテインメント、ライフスタイル、ニュース、ゲームなどの様々なカテゴリのアプリをダウンロードし、使用できます。

1 リモコンの🏠ボタンを押します。

2 [LG Content Store]アプリケーションを起動します。

- お子様が使用する際は、有害となるコンテンツへの接続に十分ご注意ください。
- インターネットブラウザなど、一部アプリへのアクセスを制限することで、不適切なインターネット上のコンテンツをブロックできます。 (Q.設定) →  → [ロック] → [アプリの使用制限]から、制限する内容を設定できます。

メイン画面のお勧めコンテンツ

[LG Content Store]は各カテゴリの中で最も人気が高いコンテンツを表示します。コンテンツのどれかを選択すると、詳細を閲覧できます。

- この機能を使用するには、インターネット接続が必要です。

ウィッシュリストの作成

マイコンテンツの使用

希望するコンテンツを[マイコンテンツ]に追加することで、そのコンテンツをいつでも素早く使用できます。

- 1 リモコンの🏠ボタンを押します。
- 2 画面左上の[マイコンテンツ]を選択します。
- 3 [コンテンツの追加]を選択します。
- 4 コンテンツを検索します。
- 5 検索結果から目的のコンテンツを探し、[マイコンテンツ]に追加します。
 - さらに、検索ボックスの真下に表示されているお勧めコンテンツから選択し、[マイコンテンツ]に直接追加することもできます。
 - この機能を使用するにはインターネット接続が必要です。
 - アプリを管理するのと同じように、追加されたコンテンツを移動・削除できます。
 - プロバイダーの事情でサービスが解除された場合、[マイコンテンツ]に追加されたコンテンツサービスの一部が使用できないことがあります。

アカウント作成

LGアカウントの作成

[アカウント管理]で、メールアドレスを使用して新規LGアカウントを作成できます。

- 1 リモコンの  (Q.設定) ボタンを押して、 → [機器設定] → [アカウント管理]を選択します。
- 2 [アカウントの作成]を選択します。サービス利用規約をお読みいただいた上で[同意する]を選択します。
- 3 IDとパスワードを入力します。IDはメールアドレスと同一である必要があります。
- 4 生年月日を入力します。
- 5 [決定]を選択します。メールから、メールアドレスを認証します。有効期限が切れる前に、メールアドレスを認証してください。
- 6 新しいアカウントでログインし、サービスの利用を開始します。
 - アカウントを作成するには、インターネット接続が必要です。
 - 必要な情報はご利用の国によって異なる場合があります。
 - メールアドレスを使用しない既存のIDはメールアドレスに移行できます。
 - FacebookまたはGoogleアカウントでログインできます。(ログイン以外の機能が使用できない場合があります。)
 - 年齢によっては、サービスの利用が制限される場合があります。

アカウント管理

LGアカウントの管理

LGアカウントの情報を管理できます。

- 1 リモコンの  (Q.設定) ボタンを押します。
- 2  → [機器設定] → [アカウント管理] からログインします。

個人情報

現在ログインしているアカウントの情報を閲覧または編集できます。
パスワードを変更するか[編集]を押して個人情報を編集します。

アプリとコンテンツの使用

アプリのインストール

LGアカウントを使用して、プロジェクターに各種アプリをインストールできます。

- 1 リモコンのボタンを押します。
 - 2 **[LG Content Store]**アプリケーションを起動します。
 - 3 画面上に表示されているカテゴリから、希望するカテゴリを1つ選択します。選択されたカテゴリ内で使用可能なアプリの一覧が表示されます。
 - 4 一覧から、セットアップするアプリを1つ選択します。
 - 5 アプリの詳細をお読みいただき、**[インストール]**を押します。
 - 6 インストール完了後、すぐにアプリを起動できます。
- プロジェクターのストレージの空き容量が不足している場合、USBストレージデバイスを接続することでアプリがインストールできます。
 - すべてのUSBデバイスが使用できることを保証するものではありません。
 - 他のLGテレビやLGプロジェクターのアプリを含むUSBドライバーは使用できません。

コンテンツの検索

検索

[検索]を使用して、さまざまなコンテンツと情報を検索して使用できます。画像、動画、音声、録音ファイルを含むファイルを検索できます。

コンテンツの検索

- 1 リモコンの **Q** (検索) ボタンを押して、**[検索]**を実行します。
- 2 目的の検索用語を入力して、さまざまなコンテンツと情報を検索します。



説明	
①	目的の検索用語を入力します。
②	<p>[検索]で利用できる各種機能の設定を変更します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一部のアプリには、プロジェクター内で視聴できる機能が付いています。そのようなアプリで検索をすると、検索が[検索]で行われます。

- ネットワーク設定、利用規約に同意しているかによって、検索結果が異なる場合があります。

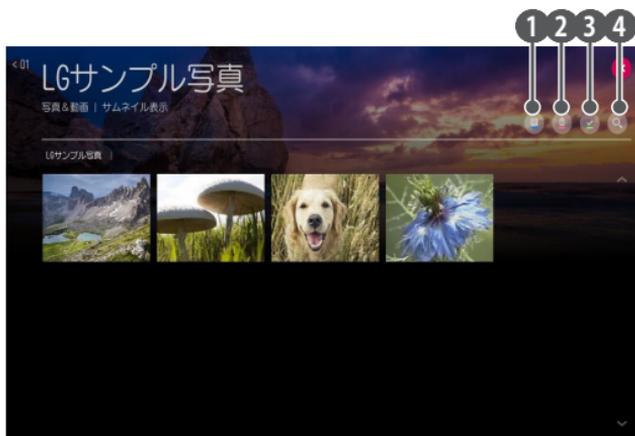
他のデバイスファイルの再生

写真と動画

写真および動画の表示

[写真&動画]アプリを使用して、写真や動画を表示できます。

- 1 リモコンの🏠ボタンを押します。
- 2 [写真&動画]アプリケーションを起動します。
- 3 目的のストレージデバイスを選択します。
- 4 目的の写真または動画を選択して表示します。



	説明
①	目的のコンテンツのタイプと表示方法を選択します。
②	目的のコンテンツを選択して削除します。 (他のデバイスから共有されているファイルは削除できません。)
③	再生するコンテンツを選択します。最初に選択したタイプと同じタイプのコンテンツしか選択できません。
④	[検索]を起動します。

- コンテンツの総数が40,000点を超えると、特定のコンテンツが一覧に表示されない場合があります。

写真プレーヤー

[写真&動画]アプリで写真を選択すると、写真プレーヤーが実行されます。保存した写真を表示できます。



	説明
①	全コンテンツの一覧に戻ります。
②	音楽プレーヤーを実行して、バックグラウンドミュージックを再生できます。
③	写真を拡大/縮小できます。
④	スライドショーが開始されます。
⑤	写真を回転させます。
⑥	360度で撮影された動画の場合、パノラマモードで楽しむことができます。 <ul style="list-style-type: none"> 360度動画ではない動画でパノラマモードを選択すると画像が乱れる場合があります。
⑦	写真のサイズを設定したり、スライドショーの速度と効果を変更できます。

28 他のデバイスファイルの再生

サポートされている写真ファイル

ファイルタイプ	形式	解像度
.jpeg .jpg .jpe	JPEG	最小:64 x 64 最大 標準タイプ:15360 (W) x 8640 (H) プログレッシブタイプ:1920 (W) x 1440 (H)
.png	PNG	最小:64 x 64 最大:5760 (W) x 5760 (H)
.bmp	BMP	最小:64 x 64 最大:1920 (W) x 1080 (H)

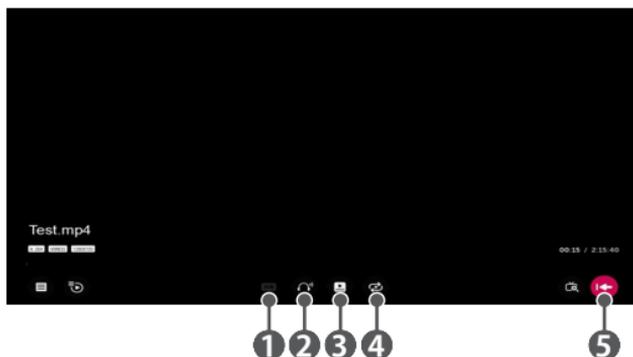
ビデオプレーヤー

[写真&動画]アプリで動画を選択すると、ビデオプレーヤーが実行されま
す。保存した動画を再生できます。



	説明
①	全コンテンツの一覧に戻ります。
②	動画を視聴しながら、プレイリストを表示して他のコンテンツを選択できます。
③	基本的な動画再生機能を制御できます。
④	動画を回転します。
⑤	360度で撮影された動画の場合、パノラマモードで楽しむことができます。 <ul style="list-style-type: none"> 360度動画ではない動画でパノラマモードを選択すると画像が乱れる場合があります。
⑥	プロジェクターの表示を拡大すると、オリジナルより大きなサイズで画像を表示できます。
⑦	動画再生オプションを設定ができます。

動画再生オプションの設定



	説明
①	字幕の設定を変更できます。
②	オーディオトラックを設定できます。
③	最後に再生したシーンから再開して視聴を続けるよう設定できます。
④	連続再生を設定できます。 連続再生を設定すると、動画の再生が終了した後、次の動画が自動的に再生されます。
⑤	基本操作画面に戻ります。

サポートされている動画ファイル

最大データ転送速度:

- フルHD動画
H.264 1920 x 1080@60P BP/MP/HP@L4.2 40Mbps
HEVC 1920 x 1080@60P MP@L4.1、Main10 Profile@L4.1 40Mbps
- 4K (4Kモデルのみ)
[モデルによって異なります。]
H.264 4096 x 2160@60P BP/MP/HP@L5.1 60Mbps
HEVC 4096 x 2160@60P MP@L5.1、Main10 Profile@L5.1 60Mbps

サポートされている外部字幕:

.smi、.srt、*.sub (MicroDVD、SubViewer 1.0/2.0)、*.ass、*.ssa、*.txt (TMPPlayer)、*.psb (PowerDivX)、*.dcs (DLP Cinema)

サポートされている埋め込み字幕形式:

- Matroska (mkv) : Sub Station Alpha (SSA)、Advanced Sub Station Alpha (ASS)、SRT
- MP4 (mp4) : タイミングが設定されたテキスト

サポートされている動画コーデック

拡張子	コーデック	
.asf .wmv	動画	VC-1アドバンスドプロファイル(WMVAを除く)、VC-1シンプルおよびメインプロファイル
	音声	WMA Standard (WMA v1/WMA音声を除く)
.avi	動画	Xvid(3ワープポイントGMCを除く)、H.264/AVC、Motion Jpeg、MPEG-4
	音声	MPEG-1 Layer I、II、MPEG-1 Layer III (MP3)、Dolby Digital、LPCM、ADPCM、DTS
.mp4 .m4v .mov	動画	H.264/AVC、MPEG-4、HEVC
	音声	Dolby Digital、Dolby Digital Plus、AAC、MPEG-1 Layer III (MP3)
.3gp .3g2	動画	H.264/AVC、MPEG-4
	音声	AAC、AMR-NB、AMR-WB
.mkv	動画	MPEG-2、MPEG-4、H.264/AVC、VP8、VP9、HEVC
	音声	Dolby Digital、Dolby Digital Plus、AAC、PCM、DTS、MPEG-1 Layer I、II、MPEG-1 Layer III (MP3)
.ts .trp .tp .mts	動画	H.264/AVC、MPEG-2、HEVC
	音声	MPEG-1 Layer I/II、MPEG-1 Layer III (MP3)、Dolby Digital、Dolby Digital Plus、AAC、PCM
.mpg .mpeg .dat	動画	MPEG-1、MPEG-2
	音声	MPEG-1 Layer I、II、MPEG-1 Layer III (MP3)
.vob	動画	MPEG-1、MPEG-2
	音声	Dolby Digital、MPEG-1 Layer I、II、DVD-LPCM

動画の再生に関する注意事項

- 作成された字幕ファイルで、正常に動作しない場合があります。
- 動画ファイルと字幕ファイルは同じファイル名で同じフォルダに配置されている必要があります。
- 動画コンテンツを再生する時、字幕の表示をサポートしないNAS(Network Attached Storage)装置もあります。NAS装置の取扱説明書をご確認ください。
- GMC(Global Motion Compensation)、Qpel(Quarterpel Motion Estimation)を含む動画コンテンツには対応していません。
- エンコード条件によって再生可能なファイルサイズは異なります。
- WMA形式の音声コーデックはWindows Media Audio V7以降のみがサポートされています。
- AAC Mainプロファイルはサポートされていません。
- ファイルを作成したエンコーダーによっては動画ファイルは再生できないことがあります。
- 対応している形式以外の動画ファイルは正常に再生できないことがあります。
- 高速転送をサポートしないUSBストレージデバイスに保存されている動画ファイルは、正常に再生できないことがあります。
- DTSコーデックは、USBおよびHDMI動画ファイルの再生のみサポートされます。

4K (4Kモデルのみ)

[モデルによって異なります。]

- 4K (4Kモデルのみ): 3840 x 2160, 4096 x 2160
- LG Electronicsから正式に配布されたコンテンツでない場合、HEVCでエンコードされたULTRA HD動画が再生されないことがあります。一部のコーデックは、ソフトウェアのアップグレード後にサポートされます。

拡張子	コーデック	
mkv / mp4 / ts	動画	H.264/AVC、HEVC
	音声	Dolby Digital、Dolby Digital Plus、AAC

音楽

音楽の再生

[音楽]アプリを使用して、音楽を再生できます。

- 1 リモコンの🏠ボタンを押します。
- 2 [音楽]アプリケーションを起動します。
- 3 目的のストレージデバイスを選択します。
目的の曲をすべてのストレージデバイスから選択して、[マイプレイリスト]に追加できます。
- 4 お好みの音楽コンテンツを選んでお楽しみください。

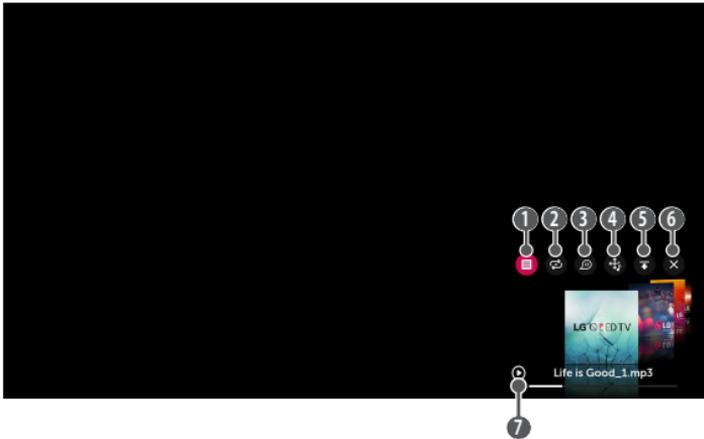


	説明
①	目的のタイプのコンテンツの一覧を選択します。
②	コンテンツを選択して削除します (他のデバイスから共有されているファイルは削除できません)。
③	コンテンツを選択して[マイプレイリスト]に追加します。
④	音楽プレーヤーを開きます。
⑤	[検索]を起動します。

- コンテンツの総数が5,000点を超えると、一部のコンテンツが一覧に表示されない場合があります。

音楽プレーヤーの使用

他のアプリから音楽を選択し、バックグラウンドミュージックに設定することができる音楽プレーヤーです。



説明	
①	選択されたストレージデバイスから音楽を再生できます。
②	リピート再生およびランダム再生を設定できます。
③	<p>📺 : 音楽を聴きながら画面をオフにするか、フルスクリーンモードで音楽プレーヤーを表示できます。</p> <p>🔇 : 画面をオフにした状態で音楽を再生できます。</p>

	説明
④	音楽プレーヤーの位置を変更できます。
⑤	音楽プレーヤーを最小化できます。
⑥	音楽プレーヤーを終了します。
⑦	歌詞は、歌詞が提供される音楽ファイルでのみ見ることができます。 一部の音楽ファイルでは、歌詞の一部分を選択して再生位置をずらすことができます。 <ul style="list-style-type: none">• 歌詞機能は一部のデバイスのみに対応しています。• 音楽ファイルの歌詞データによっては、歌詞が同期して表示されない場合があります。

- リモコンの **+** **△** ボタンを押すと、音楽プレーヤーを再び開くことができます。
- 音楽プレーヤーの一部の機能を使用できないことがあります。
- 音楽プレーヤーは、次のようにして実行することもできます。
 - **[音楽]**アプリで  を選択します。
 - **[写真&動画]**アプリで写真を表示しながら、 を選択します。

音声形式

ファイル形式	項目	情報
.mp3	ビットレート	32kbps～320kbps
	サンプル周波数	16kHz～48kHz
	サポート	MPEG-1、MPEG-2
	チャンネル	モノラル、ステレオ
.wav	ビットレート	-
	サンプル周波数	8kHz～96kHz
	サポート	PCM
	チャンネル	モノラル、ステレオ
.ogg	ビットレート	64kbps～320kbps
	サンプル周波数	8kHz～48kHz
	サポート	Vorbis
	チャンネル	モノラル、ステレオ
.wma	ビットレート	128kbps～320kbps
	サンプル周波数	8kHz～48kHz
	サポート	WMA
	チャンネル	最大6チャンネル
.flac	ビットレート	-
	サンプル周波数	8kHz～96kHz
	サポート	FLAC
	チャンネル	モノラル、ステレオ

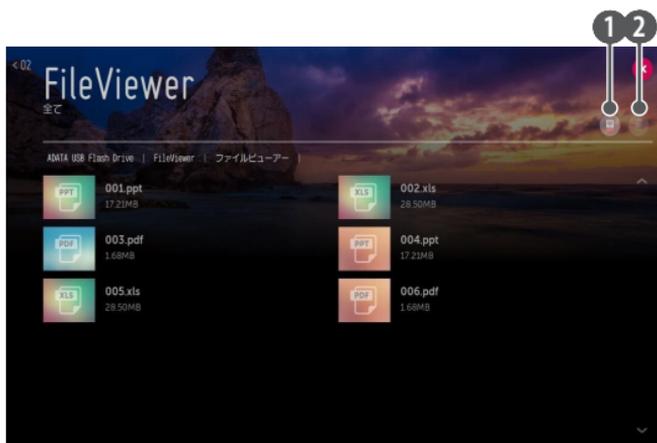
- サンプル周波数によってサポートされるチャンネルの数は異なります。

ファイルビューアー

ファイルの表示

接続されたデバイスに保存されているドキュメントファイルを表示できません。

- 1 リモコンの🏠ボタンを押します。
- 2 [File Viewer]アプリケーションを起動します。
- 3 目的のストレージデバイスを選択します。
- 4 目的のドキュメントファイルを選択して表示します。



	説明
①	目的のコンテンツのタイプと表示方法を選択します。
②	目的のコンテンツを選択して削除します。 (他のデバイスから共有されているファイルは削除できません。)

- コンテンツの総数が40,000点を超えると、特定のコンテンツが一覧に表示されない場合があります。

ファイルビューアー画面



	説明
①	全コンテンツの一覧に戻ります。
②	指定したページに移動します。
③	スライドショーを設定します。
④	ドキュメントを拡大または縮小します。
⑤	スライドショーが開始されます。
⑥	ドキュメントを回転させます。
⑦	ファイルビューアーのオプションを設定します。

サポートされているファイル形式

XLS、XLSX、DOC、DOCX、PPT、PPTX、TXT、PDF、HWP

Microsoft Office 97/2000/2002/2003/2007/2010/2013/2016/バージョン

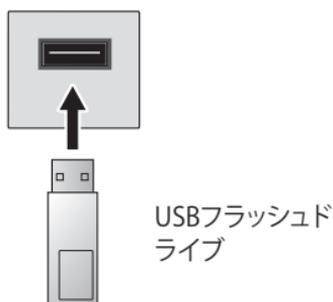
Adobe PDF 1.0/1.1/1.2/1.3/1.4/バージョン

Hangul 2007/バージョン

- ファイルビューアーではドキュメントを再編成するため、PCでの表示と異なることがあります。
- 画像を含むドキュメントは、並べ替え処理中に解像度が低下して表示されることがあります。
- ドキュメントのサイズが大きいか、多くのページが含まれている場合は、読み込みに時間がかかることがあります。
- サポートされていないフォントは、別のフォントで置き換えられることがあります。
- 解像度の高い画像が多く含まれているOfficeドキュメントではファイルビューアーが開けないことがあります。その場合は、ドキュメント内の画像を圧縮して、ファイルサイズを小さくしたものをUSBストレージデバイスに保存し、もう一度ファイルビューアーを実行するか、プロジェクターをPCに接続してPCからファイルを開いてください。

USBの接続

USBストレージデバイス (USB HDD、USBフラッシュドライブ) をプロジェクターのUSBポートに接続し、USBストレージデバイスに保存されているコンテンツファイルをプロジェクターで再生します。



USBストレージデバイスの使用上のヒント

- 自動認識プログラムを内蔵していたり、独自のドライバーを使用しているUSBストレージデバイスは、認識されない可能性があります。
- すべてのUSBデバイスが使用できることを保証するものではありません。
- USB延長ケーブルを使用すると、USBストレージデバイスが認識されないか、正常に動作しないことがあります。
- Windows OSのFAT32またはNTFSファイルシステムでフォーマットされているUSBストレージデバイスのみを使用してください。
- 定格電圧5 V以下、定格電流500mA以下の外部USB HDDを使用することをお勧めします。
- 電源のあるUSBハブまたはハードディスクドライブを使用することをお勧めします（供給電力が十分でない場合、USBストレージデバイスが正しく検出されないことがあります）。
- 32 GB以下のUSBフラッシュドライブまたは2 TB以下のUSB HDDを使用することをお勧めします。
- 省エネ機能付きUSB HDDが正常に動作しない場合は、HDDの電源をオフにしてから、もう一度オンにしてください。詳細については、USB HDDの取扱説明書を参照してください。
- USBストレージデバイスのデータは損傷することがあるため、重要なファイルはあらかじめバックアップしておくことをお勧めします。データの破損、損失に関しては、保証の対象外になります。
- **[入力]**から接続済みのUSBを選択して**[取り外し]**ボタンを選択してから、USBストレージデバイスを取り外します。
[取り外し]を選択せずにUSBストレージデバイスを取り外すと、プロジェクターまたはストレージデバイスでエラーが発生することがあります。
[入力]を開くには、 (**入力**) → **[すべての入力]**を選択します。
- その他の接続方法の詳細については、 → **[デバイスコネクター]**を参照してください。
- USBストレージデバイスをフォーマットするには、**[入力]**から接続済みのUSBを選択して、**[フォーマット]**ボタンを選択します。フォーマットの後、USBストレージデバイスのすべてのデータが削除されて、NTFSまたはFAT32ファイルシステムとしてフォーマットされます。
- USBストレージデバイスを接続する際、スマートプロジェクターサービス（サムネイルイメージの保存と取得など）を提供するためのランダムファイル/フォルダーが作成されます。

スマートフォンの共有

スマートフォンのコンテンツの共有

コンテンツ共有により、同じネットワークに接続されたスマートフォンに保存されている動画、音楽、および写真を再生することができます。

スマートフォンとプロジェクターの接続

- 1 リモコンの🏠ボタンを押します。
- 2 [デバイスコネクター]アプリケーションを起動します。
- 3 [スマートフォン]を選択します。
- 4 [デバイスコネクター]の指示に従います。



コンテンツ共有時に特に注意が必要な事項

- コンテンツ共有オプションが適切に動作しない場合は、ネットワーク設定を確認します。
- 無線ネットワークでは正常に動作しない場合があります。有線ネットワーク接続を使用することをお勧めします。
- ネットワーク環境によっては正常に動作しない場合があります。
- 1つのデバイスに複数のディスプレイデバイスを接続している場合、サーバーのパフォーマンスによってはコンテンツが正常に再生されないことがあります。
- コンテンツ共有機能を使用して1080p動画を視聴するには、5 GHzの周波数を使用するルーターが必要です。2.4 GHzのルーターを使用した場合、動画が正しく再生されないことがあります。
- 字幕がサポートされるのは、一部の接続デバイスのみです。
- 字幕ファイルを後で追加する場合は、共有フォルダーを無効にしてから、もう一度有効にしてください。
- 接続されたデバイスのDRM(デジタル著作権管理)が適用されているファイルは再生されません。
- プロジェクターでサポートされているファイル形式の場合でも、サポートされるファイル形式は接続されたデバイス環境によって異なることがあります。
- 1つのフォルダーにあるフォルダーとファイルが多すぎる場合、適切に動作しないことがあります。
- 接続されたデバイスからインポートしたファイルに関する情報は、正しく表示されないことがあります。
- エンコードによっては、一部のストリームがコンテンツ共有モードで再生されないことがあります。

スマートフォンの表示

モバイルデバイスの画面をプロジェクターに表示するには

- 1 リモコンのボタンを押します。
 - 2 **[Screen Share]**アプリケーションを起動します。
 - 3 モバイルデバイスでMiracastモードを有効にします。
 - 4 プロジェクターが、メニューの使用可能なデバイスリストに表示されません。
 - 5 プロジェクターを選択して、接続を開始します。
 - 6 **[接続中...]**というメッセージが表示され、接続が開始されます。
 - 7 接続が確立されると、接続されたデバイスの画面がプロジェクターに表示されます。
- 接続の信頼性を高めるために、プロジェクターに接続するデバイスは、常に最新のOSバージョンにアップデートしてください。
 - LGエレクトロニクス製以外のデバイスは、検出された場合でも接続されないことがあります。
 - 無線環境によって通信速度が影響を受ける可能性があるため、5GHz対応のルーターに接続してください。
 - 応答速度は使用環境に応じて異なります。
 - 性能や操作方法はデバイスごとに異なります。接続するデバイスの詳細については、それぞれの取扱説明書を参照してください。
 - **[Screen Share]**アプリの起動後に、**[リッスンモード]**を**[オン]**にします。**[Screen Share]**アプリを起動せずにデバイスを接続できます。
 - **[リッスンモード]**は、ルーター(アクセスポイント)に接続しているときに無線接続のパフォーマンスに影響を与えることがあります。無線のパフォーマンスに問題がある場合は、**[リッスンモード]**をオフにすることをお勧めします。
 - 接続が繰り返し失敗する場合は、プロジェクターおよび接続するデバイスの電源をオフにして、もう一度オンにしてから、再試行してください。

PCの共有

コンテンツ共有とは

コンテンツ共有により、PCに保存されている動画、音楽、および写真を再生することができます。

PCの共有ソフトウェアを使用したコンテンツの再生

コンピュータのOSがWindows 7、Windows 8.1、Windows 10の場合、追加プログラムをインストールせずにプロジェクターで音楽、動画、または画像を再生できます。

- 1 プロジェクターとPCを同じネットワーク上で設定します。また、Windows 7、Windows 8.1、またはWindows 10がインストールされているPCのネットワーク設定を行ってください。
 - 2 目的の音楽、動画、または写真ファイルを右クリックして、Windows 7、Windows 8.1、またはWindows 10で提供されているリモート再生機能を使用しているモデルを選択し、選択したファイルを再生します。携帯電話などの他のデバイスで再生する場合は、関連するユーザーガイドを参照してください。
- 複数のプロジェクターやデバイスを接続している場合でも、選択したファイルは1つのデバイスからのみ再生されます。再生速度はネットワーク接続に応じて異なります。

SmartShare PCソフトウェアを用いた、PCに保存されたコンテンツの再生

SmartShare PCソフトウェアを使用して、PCに保存されている音楽/動画/写真をホームネットワークに接続し、プロジェクターで再生することができます。

- 1 プロジェクターと、SmartShareがインストールされたPCを同じネットワーク上で設定します。
 - SmartShareサービスは、プロジェクターとサーバーPCが同一のルーターに接続されている場合にのみ利用できます。
- 2 LGのWebサイトから、SmartShare PCソフトウェアをダウンロードしてインストールします。インストール前に、ファイアウォールやウイルス対策ソフトウェアなど、PCで実行中のプログラムをすべて終了してください。
- 3 SmartShare PCソフトウェアを実行して、共有設定を行います。
- 4 共有した動画と写真は、プロジェクターの**[写真&動画]**アプリから再生します。共有した音楽ファイルは、プロジェクターの**[音楽]**アプリから再生します。
 - プロジェクターで共有ファイルを視聴するには、サーバーが稼働中である必要があります。
 -  → **[デバイスコネクター]** → **[PC]** → **[コンテンツ共有]**からWebサイトの情報を確認できます。
 - SmartShare PCソフトウェアの使用方法については、ソフトウェアのヘルプセクションを参照してください。

コンテンツ共有時に特に注意が必要な事項

- コンテンツ共有オプションが適切に動作しない場合は、ネットワーク設定を確認します。
- 無線ネットワークでは正常に動作しない場合があります。有線ネットワーク接続を使用することをお勧めします。
- 1つのデバイスに複数のディスプレイデバイスを接続している場合、サーバーのパフォーマンスによってはコンテンツが正常に再生されないことがあります。
- ネットワーク環境によっては正常に動作しない場合があります。
- コンテンツ共有機能を使用して1080p動画を視聴するには、5GHzの周波数を使用するルーターが必要です。2.4GHzのルーターを使用した場合、動画が正しく再生されないことがあります。
- コンテンツ共有機能は、マルチキャストに対応していないルーターではサポートされない場合があります。詳細については、ルーターに付属のユーザーガイドを参照するか、メーカーにお問い合わせください。
- 字幕がサポートされるのは、一部の接続デバイスのみです。
- SmartShare PCソフトウェアは、字幕の読み取りへの使用が推奨されません。
- 字幕ファイルを後で追加する場合は、共有フォルダーを無効にしてから、もう一度有効にしてください。
- 接続されたデバイスのDRMファイルは再生されません。
- プロジェクターでサポートされているファイル形式の場合でも、サポートされるファイル形式は接続されたデバイス環境によって異なることがあります。
- 1つのフォルダーにあるフォルダーとファイルが多すぎる場合、適切に動作しないことがあります。
- 接続されたデバイスからインポートしたファイルに関する情報は、正しく表示されないことがあります。
- エンコードによっては、一部のストリームがコンテンツ共有モードで再生されないことがあります。

PCの表示

PCの画面をプロジェクターに表示するには

無線の接続

- 1 リモコンの ボタンを押します。
- 2 **[Screen Share]**アプリケーションを起動できます。
- 3 PCにワイヤレス接続デバイスを追加します。
PCのOSがWindows 7またはWindows 8.1の場合、**[Intel® WiDi]**を実行してください。
- 4 使用しているプロジェクターが、使用可能なデバイスの一覧に表示されます。
- 5 プロジェクターを選択し、接続要求を実行します。
- 6 接続が確立されると、接続されたデバイスの画面がプロジェクターに表示されます。
 - 接続の信頼性を高めるために、プロジェクターに接続するデバイスは、常に最新のOSバージョンにアップデートしてください。
 - インテル® WiDiを介して接続するときは、デバイスをプロジェクターの近くに置いてください。
 - 無線ルーターがなくても接続できますが、無線環境によってはパフォーマンスが低下する可能性があるため、デバイスを5 GHz対応ルーターに接続することを推奨します。
 - Intel® WiDi 3.5バージョン経由の接続をサポートします。
 - 応答速度は使用環境に応じて異なります。
 - Windowsバージョンとは異なります。接続するデバイスの詳細については、それぞれのユーザーガイドを参照してください。
 - **[Screen Share]**アプリの起動後に、**[リッスンモード]**を**[オン]**にします。**[Screen Share]**アプリを起動せずに接続できます。
 - **[リッスンモード]**をオンにすると、ルーター(アクセスポイント)に接続しているときに、無線接続のパフォーマンスに影響を与えることがあります。無線のパフォーマンスに問題がある場合は、**[リッスンモード]**をオフにしてください。
 - 詳細については、**[Screen Share]**アプリを参照してください。
 - 接続が繰り返し失敗する場合は、プロジェクターおよび接続するデバイスの電源をオフにして、もう一度オンにしてから、再試行してください。

有線の接続

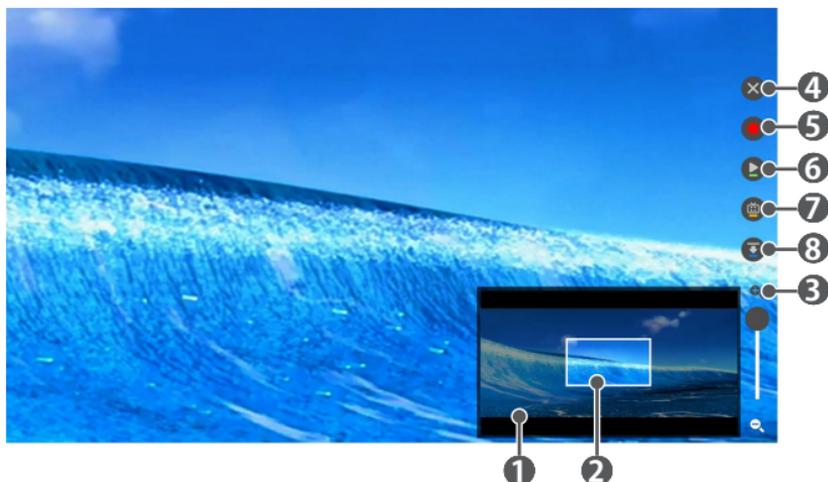
HDMIケーブルでPCとプロジェクターを接続します。

スマートプロジェクターの利点

プロジェクター画面の拡大

プロジェクター画面を拡大すると、元より大きいサイズで映像を見ることができます。

動画を再生している途中、リモコンのLIVE ZOOMボタンまたはマジックリモコンの△▽(上/下)ボタンを押し、画面右下隅に表示されている[ライブズームの開始]を選択します。



	説明
①	サブ画面に、拡大前の元の画面が表示されます。
②	メイン画面で表示されている拡大エリアを示します。
③	拡大バーを使用して、メイン画面を拡大・縮小できます。
④	ボタンを押すと、ライブズームがオフになります。

	説明
⑤	USBストレージデバイスの動画を視聴している場合 USBストレージデバイスの動画を拡大して、録画を開始できます。詳細については、 [ズーム録画] を参照してください。 <ul style="list-style-type: none"> この機能はマジックリモコンを使用します。
⑥	現在の画面を一時停止または再開できます。
⑦	現在の画面をキャプチャーできます。 [写真&動画] アプリでキャプチャーされた画像を閲覧できます。
⑧	サブ画面を非表示にできます。

- 機能を終了して、元の画面に戻るには、**LIVE** または **ZOOM** または **EXIT** を押してください。また、リモコンのBACKボタンでも機能を終了できます。
- 拡大画面で他のアプリを起動すると、機能が終了します。

拡大画面の位置移動

- 方法1：メイン画面で、希望する位置にマジックリモコンのポインタを移動し、**[ホイール(OK)]**ボタンを押します。
- 方法2：マジックリモコンのポインタを使用し、サブ画面の拡大エリアを希望する位置までドラッグします。
- 方法3：サブ画面で、マジックリモコンを使用して拡大するエリアを選択します。
- また、リモコンの**◀/▶/△/▽**ボタンで画面を動かすこともできます。

ズーム録画

ズーム録画をする

USBストレージデバイスの動画を拡大して**[ズーム録画]**をすることができます。

- 1 **[写真&動画]**アプリで動画の LIVE ZOOM 再生中に、リモコンのボタンまたはマジックリモコンの **①ホイール (OK)** ボタンを押し、画面右下隅に表示されている**[ライブズームの開始]**を選択します。
- 2 画面右の **●** を押すと**[ズーム録画]**が実行されます。



	説明
①	<p>[ズーム録画]をする領域を表示します。 マジックリモコンのⓂ [ホイール (OK)] ボタンで拡大倍率を調節することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 拡大表示した映像を移動するには、映像の拡大したい部分にマジックリモコンのポインターを移動してⓂ [ホイール (OK)] ボタンを押してください。 • 録画する領域をマジックリモコンのポインターでドラッグしてください。
②	[ズーム録画]を保存して終了します。
③	[ズーム録画]を保存せず、[ライブズーム]に戻ります。

- この機能はマジックリモコンが必要です。
- この機能はUSBストレージデバイスの動画にのみ使用できます。
- [ズーム録画]は録画元のファイルと同じ場所に保存されます。
- オリジナルファイルを削除すると、[ズーム録画]ファイルは再生できません。
- [ズーム録画]をサポートするLG プロジェクターのみ再生することができます。

[マイスタート]の使用

マイスタートを使用すると、現在の時刻、天気予報、モバイルデバイスに追加したスケジュールなどの情報をプロジェクターに表示できます。

- **マイスタート**をプロジェクターまたは**[LG TV Plus]**アプリで設定すると、指定した時刻にプロジェクターの電源をオンにして、**マイスタート**を自動的に実行することができます。
- 一部の機能は、モバイルデバイスに**[LG TV Plus]**アプリをインストールした後にのみ使用できます。

プロジェクターでの設定

- 1 リモコンの (**Q.設定**) ボタンを押します。
- 2  → **[機器設定]** → **[タイマー]** → **[オンタイマー]** → **[マイスタート設定]** を選択して、オプションを**[オン]**に設定します。

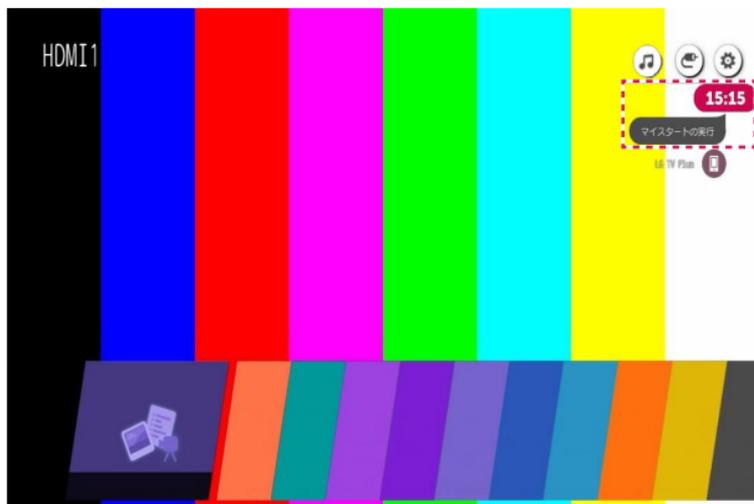
LG TV Plusアプリでの設定

- 1 モバイルデバイスのアプリストアから**[LG TV Plus]**アプリをダウンロードします。
- 2 プロジェクターとモバイルデバイスを同じネットワークに接続します。
- 3 モバイルデバイスにインストールした**[LG TV Plus]**アプリを実行します。
- 4 **[LG TV Plus]**アプリで**マイスタート**を選択して、オプションを設定します。

[マイスタート]を使用したスケジュールの表示

[LG TV Plus]アプリの指示に従って、プロジェクターとのスケジュール共有を設定すると、モバイルデバイスに追加したスケジュールをプロジェクターに表示できるようになります。

- 1  ボタンを押します。
- 2 画面の右上隅に表示された時刻を選択すると、**[マイスタートの実行]**が実行されます。
 - 時刻が表示されていない場合は、プロジェクターの時刻を設定します。



- 複数のモバイルデバイスでプロジェクターとのスケジュール共有が設定されている場合、スケジュール共有を最後に設定したモバイルデバイスのスケジュールが表示されます。
- スケジュール共有は、**[マイスタート設定]**を設定せずに使用できます。

インターネットの利用

ウェブブラウザの使用

URLバーにWebアドレスを入力すると、Webサイトを開くことができます。検索語を入力すると、検索エンジンで検索ワードに関連する情報が検索されます。

- 1 リモコンの🏠ボタンを押します。
- 2 **[ウェブブラウザ]**アプリケーションを起動します。



	説明
①	現在のページをホーム画面に追加したり、 [お気に入り] に現在のページを追加または削除することができます。 (ホーム画面に追加したページは、ホーム画面でのみ削除できます。この場合、 [お気に入り] からページは削除されません。)
②	現在のページを再読み込みします。
③	ミニTVの電源のオン/オフを切り替えできます。

	説明
④	画面をズームインまたはズームアウトします。
⑤	<p>[履歴]:履歴の一覧を開いたり削除できます。</p> <p>[お気に入り]:お気に入りの一覧を開いたり削除できます。</p> <p>[設定]:ブラウザーの簡単な設定を行うことができます。</p> <p>[エンコード]:Webページのコンテンツが正しく表示されない場合に、言語を変更できます。</p>
⑥	<p>ブラウザーを全画面モードで使用できます。元の画面に戻るには、リモコンを使用してポインターを画面上部に移動します。</p> <p>[全画面表示を終了]が表示されます。</p>
⑦	[ウェブブラウザ] を終了します。

- **[ウェブブラウザ]**はHTML5のみサポートされます。フラッシュプラグインには対応していません。
- **[ウェブブラウザ]**は、プラグインのインストールをサポートしていません。
- **[ウェブブラウザ]**は、JPEG/PNG/GIF形式以外の画像ファイルを再生できないことがあります。
- **[ウェブブラウザ]**は、メモリ容量が不足すると強制終了する場合があります。
- **[ウェブブラウザ]**は、プロジェクターに内蔵されているフォントのみが使用されます。このため、PC上とは異なるフォントでテキストが表示されることがあります。
- **[ウェブブラウザ]**はファイルやフォントのダウンロードに対応していません。
- **[ウェブブラウザ]**は、PCのブラウザーとは動作が異なることがあります。
- **[ウェブブラウザ]**は、一部のコンテンツが正しく再生されないことがあります。
- お子様为本機をご使用の際は、お子様にとって有害となる可能性のあるアプリに、この制限機能を適用することを強くお勧めします。
- 本機では、ウェブブラウザを含むアプリの利用を制限することができます。
-  (Q.設定) →  → **[ロック]** → **[アプリの使用制限]**の設定を行います。

ウェブブラウザの設定

画面上部にある(☰)を押して、**[設定]**を選択します。

- **起動時**

ブラウザの起動ページを、**[新しいタブページを開く]**/**[中断した箇所から続ける]**/**[ホームページ:]**に設定できます。

- **検索エンジン**

デフォルトの検索エンジンを選択できます。

- **おすすめのサイト**

[おすすめのサイト]が表示されるように設定を変更できます。

[おすすめのサイト]および**[よく見るサイト]**が新しいタブに表示されます。

[おすすめのサイト]はお客様のご利用の国では使用できない場合があります。

[おすすめのサイト]を非表示にするには、**[設定]**から**[オフ]**を選択します。

- **お気に入りバーを常に表示**

[お気に入り]バーが常に表示されるように設定を変更できます。

- **プライベートブラウジング**

検索後にレコードを残さないように設定できます。

- **サイトカテゴリー**

- **[承認済みサイト]**:以前に登録したWebページのみを開くように設定することができます。

- **[ブロックされたサイト]**:特定のWebサイトをブロックするように設定することができます。

* **[サイトカテゴリー]**機能を使用するには、プロジェクターのパスワードを入力する必要があります。

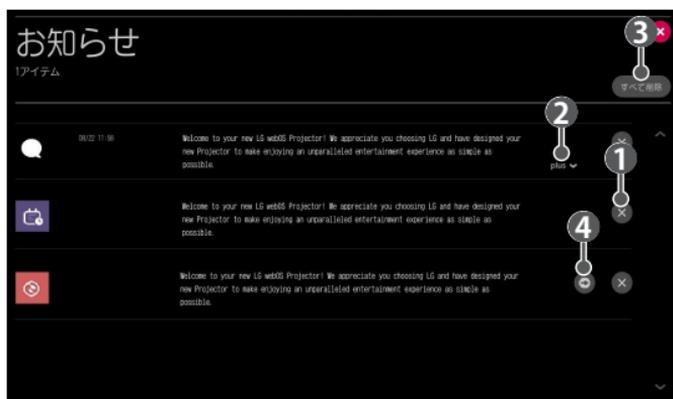
初期パスワードは「0000」に設定されています。

お知らせ

お知らせの使用

[お知らせ]では、さまざまなアプリやLGサービスからリアルタイムの通知が送信されます。現在実行されているアプリのステータスが示され、すべてのお知らせを1つの場所に表示、削除、および実行することができます。

- 1 リモコンの🏠ボタンを押します。
- 2 [お知らせ]アプリケーションを起動します。



	説明
①	お知らせを削除できます。
②	お知らせの内容が長い場合には、 [詳細] を押すと、完全ビューで開くことができます。
③	すべてのお知らせを削除できます。
④	アプリを起動するか、URLに移動できます。

設定一覧のツアー

クイック設定

設定機能をすばやく使用するには

リモコンの  (Q.設定) ボタンを押します。

[映像モード]、[画面サイズ]、[スピーカー設定]などの一連の軽量コントロールを、すばやく簡単に表示できます。



	説明
①	クイック設定を終了します。
②	[映像モード]を設定できます。
③	[画面サイズ]を設定できます。
④	[スピーカー設定]を選択できます。
⑤	[スリープタイマー]を設定できます。
⑥	[投影モード]を設定できます。
⑦	プロジェクターの詳細な設定ができます。

映像設定

映像モード

⚙️(Q.設定) → ⓘ → [映像] → [映像モードの設定] → [映像モード]
視聴環境、環境設定、動画のタイプに最適な映像モードを選択します。
入力信号によっては、使用できる映像モードが異なる場合があります。
オンラインサービスコンテンツを視聴する際、表示コンテンツに合わせて映像モードが変更される場合があります。

- **あざやか**
コントラスト、明るさ、およびシャープネスを高めて映像をシャープにします。
- **標準**
標準レベルのコントラスト、明るさ、およびシャープネスで映像を表示します。
- **ライブシアター**
映画用に画面を最適化します。
- **スポーツ**
スポーツ試合用に画面を最適化します。ボールを蹴る、投げるといった高速な動きの映像をシャープにします。
- **ゲーム**
ゲーム用に画面を最適化します。
- **HDR効果**
映像の明るい部分と暗い部分を補正して、よりダイナミックで迫力のある映像を視聴できるようになります。階調が高い映像でも目に直接見るように表現します。
 - [映像モード]を[HDR効果]にすると、一部の[映像モードの設定]ができなくなります。
- **エキスパート/シネマ1/シネマ2**
エキスパートまたは高品質な映像を求める方は誰でも、最適な映像品質になるように調整できます。

映像モード設定

⚙️ (Q.設定) → ⓘ → [映像] → [映像モードの設定]

この機能では、選択した映像モードを詳細に調整することができます。

• コントラスト

映像の明るい部分と暗い部分のコントラストを調整します。値が100に近づくほど、コントラストが高くなります。

• 明るさ

画面の全体的な明るさを調整します。値が100に近づくほど、画面が明るくなります。

• シャープネス

映像のシャープネスを調整します。値が50に近づくほど、映像がシャープで鮮明になります。

• 垂直シャープネス

コントラストエッジのシャープネスを垂直方向で調整します。

• 水平シャープネス

コントラストエッジのシャープネスを水平方向で調整します。

• 色の濃さ

映像の色の濃さを調整します。値が100に近づくほど、色合いが強くなります。

• 色合い

画面上の赤と緑の色バランスを調整します。値が赤50に近づくほど、色が赤色に近づきます。値が緑50に近づくほど、色が緑色に近づきます。

• 色温度

色温度を高/中/低/ナチュラルに調整します。

- 指定する設定は、現在選択している入力モードにのみ適用されます。現在の映像設定をすべての入力モードに適用するには、**[すべての入力に適用]**を選択します。
- 入力信号または選択した映像モードによっては、使用可能なオプションが異なる場合があります。

• すべての入力に適用

現在選択している映像モード用にカスタマイズした現在の設定値を、すべての入力用に保存します。

• 初期化

映像モードごとの設定を初期化します。

- 初期化する映像モードを選択します。初期化すると設定されていた項目がすべて初期化されますので、ご注意ください。

詳細設定/プロ設定

個々の映像モードの画面設定を調整します。

⚙️ (Q.設定) → ⓘ → [映像] → [映像モードの設定] → [詳細設定]

• ダイナミックコントラスト

最適な表示にするために、映像の明るさに応じて、画面の明るい部分と暗い部分の差を補正します。

• ダイナミックカラー

映像が彩り鮮やかで明るくなるように、映像の色と彩度を調整します。

• 色補正

個人の好みに合わせて肌、草木、空の色を調整します。

• 色域

表示する色域を選択します。

• 超解像

解像度を調整して、暗くぼやけた映像をよりクリアにします。

• ガンマ

中間色の明るさの強さを調整します。

⚙️(Q.設定) → ⓘ → [映像] → [映像モードの設定] → [プロ設定]
映像モードを[プロ設定]に設定した場合、次の機能を設定できます。

- **ダイナミックコントラスト**
最適な表示にするために、映像の明るさに応じて、画面の明るい部分と暗い部分の差を補正します。
- **超解像**
解像度を調整して、暗くぼやけた映像をよりクリアにします。
- **色域**
表示する色域を選択します。
- **輪郭補正**
映像のエッジをよりクリアにはっきりとさせながら、自然に表示します。
- **カラーフィルター**
RGBカラーの特定の色スペクトルをフィルターして、彩度と色相を正確に設定できます。
- **ホワイトバランス**
画面全体の色温度を好みに合わせて調整します。
- **カラーマネジメント**
エキスパートが6つの色域([赤]/[緑]/[青]/[シアン]/[マゼンタ]/[黄])のテストパターンを使用して、色の調整を行う際に使用する機能です。他の色域には影響しません。通常の映像の場合、調整を行っても顕著な色の変化は現れないことがあります。
 - 入力信号または選択した映像モードによっては、使用可能なオプションが異なる場合があります。
- **ガンマ**
中間色の明るさの強さを調整します。

映像オプション

⚙️ (Q.設定) → ⓘ → [映像] → [映像モードの設定] → [映像オプション]

詳細設定を調整して、映像をさらに最適化します。

- **ピクチャーノイズリダクション**

目立つ小さなドットを取り除いて、映像がクリーンになるようにします。

- **MPEGノイズリダクション**

デジタル映像信号の作成時に生成されたノイズを低減します。

- **黒レベル**

画面の暗さを調整して、画面の明るさとコントラストを補正します。

- **リアルシネマ**

表示する映像が映画館の上映と同じ24fpsだった時に48Hzに変換して表示させます。

- **TruMotion**

映像の動きをなめらかでくっきりさせる機能です。

- [オフ]: [TruMotion]機能をオフにします。

- [強]: 動きの速い映像をなめらかにします。

- [弱]: 動きの速い映像をくっきりさせます。

- [クリアプラス]: よりくっきりさを上げる設定です。この設定は、他の設定に比べて映像が暗くなります。

- [ユーザー設定]: [ジャダー調整]/[残像除去]を手動で設定します。

- [ジャダー調整]: 画面の映像のブレを調整します。

- [残像除去]: モーションの残像を除去します。

- 詳細設定を変更するには、[ユーザー設定]モードに切り替えてください。

- 入力信号または選択した映像モードによっては、使用可能なオプションが異なる場合があります。

画面サイズ

⚙️ (Q.設定) → ⓘ → [映像] → [画面サイズの設定] → [画面サイズ]

入力信号によっては、使用可能な画面サイズが異なる場合があります。

- **16:9**
16:9の画面サイズで表示します。
- **オリジナル**
入力ビデオ信号に応じて、画面サイズを4:3または16:9に変更します。
- **4:3**
4:3の画面サイズで表示します。
- **垂直方向にズーム**
[ズームの調整]および[画面位置の調整]を使用して、画面の垂直寸法を調整し、画面を垂直方向に揃えます。
- **全方向にズーム**
[ズームの調整]および[画面位置の調整]を使用して、画面の水平/垂直/対角寸法を調整し、画面を水平方向/垂直方向に揃えます。

ジャストスキャン

⚙️ (Q.設定) → ⓘ → [映像] → [画面サイズの設定] → [ジャストスキャン]

この機能を[オン]にした場合、コンテンツソース内のアスペクト比でコンテンツを視聴できます。画面の端が綺麗でない場合、[オフ]にしてください。

[自動]に設定すると映像信号によって[オン]/[オフ]が自動的に切り換わります。

- 選択可能なアイテムは現在の入力によって異なる場合があります。

映像省エネ設定

 (Q.設定) →  → [映像] → [映像省エネ設定]

画面のピークの明るさを調節して消費電力を削減します。

- **最小/普通/最大**

事前に設定した[映像省エネ設定]モードを適用します。

映像テスト

 (Q.設定) →  → [映像] → [映像テスト]

映像が正常に表示できるかテストを実施します。映像信号出力が正常か確認し、エラーがあるかを選択します。

テスト映像で問題がない場合は、接続された外部デバイスを確認してください。

音声設定

スマートサウンド

⚙️(Q.設定) → ⓘ → [音声] → [スマートサウンド]

コンテンツの種類によって自動的にサウンドを最適化します。

この設定はモニター内蔵のスピーカーのみ適用されます。外部接続の音声機器には対応しません。

リストから[オン]に設定します。

- この機能がオンになると、[サウンドモード]は手動で調整できません。

サウンドモード

⚙️(Q.設定) → ⓘ → [音声] → [サウンドモードの設定] → [サウンドモード]
ジャンルごとに最も適したサウンドモードを選択できます。

- **標準**
すべてのタイプのコンテンツ用に音声を最適化します。
- **シネマ**
映画用に音声を最適化します。
- **クリアボイスIII**
音声の明瞭さが向上します。
- **スポーツ**
スポーツ用に音声を最適化します。
- **音楽**
音楽用に音声を最適化します。
- **ゲーム**
ゲーム用に音声を最適化します。

サウンドモードの設定

⚙️(Q.設定) → ⓘ → [音声] → [サウンドモードの設定]

[サウンドモード]が[標準]に設定されている場合は、[ウルトラサラウンド]、[イコライザー]、および[初期化]のみを使用できます。

- **バランス**
左右のスピーカーの音量を調整できます。
- **ウルトラサラウンド**
仮想マルチチャンネルのサラウンドサウンドエフェクトにより、臨場感あるサウンドをお楽しみいただけます。
- **イコライザー**
周波数帯域ごとにそれぞれ調整して、お好みの音質に調整できます。
(100Hz/300Hz/1kHz/3kHz/10kHz)
- **初期化**
サウンド効果の設定を初期化します。

スピーカー設定

プロジェクターの内蔵スピーカーからの音声の再生

⚙️ (Q.設定) → ⓘ → [音声] → [スピーカー設定] → [プロジェクター内蔵スピーカー]

音声は、プロジェクターの内蔵スピーカーから再生されます。

光デジタルポートまたはHDMI (ARC) ポートに接続された外部オーディオデバイスからの音声の再生

⚙️ (Q.設定) → ⓘ → [音声] → [スピーカー設定] → [外部スピーカー (光デジタル音声/HDMI ARC)]

プロジェクターの音声は、光デジタルポートまたはHDMI (ARC) ポートに接続された外部オーディオデバイスから再生されます。HDMI (ARC) を介して音声を再生するには、SIMPLINKを有効にします。

- SIMPLINKが有効になっているときに[オフ]を選択すると、音声出力に中断が発生しないように、音声出力設定はデフォルト設定に戻ります。

デジタル音声出力の設定

⚙️ (Q.設定) → ⓘ → [音声] → [スピーカー設定] → [外部スピーカー (光デジタル音声/HDMI ARC)] → [デジタル音声出力]

- この項目は、[外部スピーカー (光デジタル音声/HDMI ARC)]/[プロジェクター内蔵スピーカー + オーディオ出力 (光デジタル)]を選択しているとき場合のみ設定が可能になります。

[デジタル音声出力]を設定できます。

	音声入力	デジタル音声出力
自動	MPEG	PCM
	ドルビーデジタル	ドルビーデジタル
	ドルビーデジタルPlus	(Optical) Dolby Digital (HDMI ARC)ドルビーデジタルPlus
	HE-AAC	ドルビーデジタル
	DTS	DTS / PCM
	DTS Express	DTS / PCM
	DTS-HDマスターオーディオ	PCM / DTS
PCM	すべて	PCM

LGサウンドシンク(光デジタル音声)をサポートするオーディオデバイスの接続および使用

⚙️(Q.設定) → ⓘ → [音声] → [スピーカー設定] → [LGサウンドシンク(光デジタル音声)]

[LGサウンドシンク(光デジタル音声)]をサポートするオーディオデバイスを光デジタル音声出力ポートに接続すると、プロジェクターの音声をより高品質で再生でき、利便性も向上します。

- 光デジタルポート搭載モデルでのみ使用できます。
- プロジェクターのリモコンを使用して、接続されているデバイスの音量を調整できます。

無線によるオーディオデバイスの接続および使用

⚙️(Q.設定) → ⓘ → [音声] → [スピーカー設定] → [LGサウンドシンク/Bluetoothデバイス]

BluetoothオーディオデバイスまたはBluetoothヘッドセットを無線で接続すると、プロジェクターの音声をより高品質で再生でき、利便性も向上します。

- サウンドバーで[LGサウンドシンク]がサポートされているデバイスに最近接続した場合、この機能は自動的に、そのデバイスへの接続を試みます。
- 一部のデバイスでは、プロジェクターの電源を入れると、この機能によって最近接続したデバイスへの接続が自動的に試みられます。
- [LGサウンドシンク]をサポートしているLGオーディオデバイスを、**LG TV**モードまたは[LGサウンドシンク]モードに設定して接続することをお勧めします。
- 接続済みのデバイスや、接続可能なデバイスを表示するには、[デバイスの選択]を押します。
- プロジェクターのリモコンを使用して、接続されているデバイスの音量を調整できます。
- デバイスが接続に失敗する場合は、接続するデバイスの電源を確認し、またオーディオデバイスが適切に動作しているかどうかを確認してください。
- Bluetoothデバイスのタイプによっては、デバイスが適切に接続されなかったり、ビデオと音声同期しないなどの異常な動作が発生したりする可能性があります。
- 次の場合、音声が途切れたり、音質が低下したりする場合があります。
 - Bluetoothデバイスとプロジェクターの距離が遠い。
 - Bluetoothデバイスとプロジェクターの間に障害物がある。
 - 電子レンジや無線LANなどの他の無線機器と併用している。
- デュアルモード/ダブルモード/2チャンネルモードをサポートするBluetoothスピーカーとマジックリモコンを併用すると、スピーカーの性能が制限される場合があります。

外部スピーカー(音声出力)/ヘッドホンの使用

⚙️(Q.設定) → ⓘ → [音声] → [スピーカー設定] → [外部スピーカー(音声出力)]/[ヘッドホン]

接続されているデバイスに応じて音声出力を最適化するには、[ヘッドホン]または[外部スピーカー(音声出力)]を選択します。

- プロジェクターの電源がオンになっているときに有線ヘッドホンを接続すると、ヘッドホンが自動的に検出され、音声はヘッドホン経由に切り替えられます。

プロジェクター内蔵スピーカーと外部オーディオデバイスからの音声の同時再生

音声を複数のデバイスから同時に再生することができます。

- [プロジェクター内蔵スピーカー + オーディオ出力(光デジタル)]の使用
⚙️(Q.設定) → ⓘ → [音声] → [スピーカー設定] → [プロジェクター内蔵スピーカー + オーディオ出力(光デジタル)]
 - プロジェクターの内蔵スピーカーと、光デジタル音声出力ポートに接続されたオーディオデバイスから、音声と同時に再生されます。
 - 光デジタルポート搭載モデルでのみ使用できます。
- プロジェクター内蔵スピーカー + ヘッドホンの使用
⚙️(Q.設定) → ⓘ → [音声] → [スピーカー設定] → [プロジェクター内蔵スピーカー + ヘッドホン]
 - 音声は、プロジェクターの内蔵スピーカーと[ヘッドホン]から同時に再生されます。

自動音量

⚙️(Q.設定) → ⓘ → [音声] → [自動音量]

[オン]をクリックすると、音量が自動的に調整されます。

AVシンク

⚙️(Q.設定) → ⓘ → [音声] → [AVシンク]

動作しているスピーカーからの音声の同期を調整します。

[-(マイナス)]に近づくほど、音声出力が速くなります。[+(プラス)]に近づくほど、音声出力速度がデフォルトに比べて遅くなります。

(ただし、[スピーカー設定]が[LGサウンドシンク / Bluetoothデバイス]に設定されていると、音声出力速度の設定は速くすることしかできません。この場合、[+(プラス)]に近づくほど、音声出力速度がデフォルトに比べて速くなります。)

[Bypass]を選択した場合、外部デバイスの音声を遅延なく出力します。プロジェクターでは映像入力の処理に時間がかかるため、音声映像より先に出力されてしまうことがあります。

音声テスト

⚙️(Q.設定) → ⓘ → [音声] → [音声テスト]

[音声テスト]を開始して、音声信号出力が正常であることを確認し、続いてエラーがあるかどうかを選択します。

テストで問題がない場合は、接続された外部デバイスを確認してください。

- 音声テストには、プロジェクター内蔵スピーカーのみを使用できます。

ネットワーク

プロジェクト名

⚙️ (Q.設定) → ⓘ → [ネットワーク] → [プロジェクト名]

スクリーンキーボードを使用して、ネットワークで使用するスマートプロジェクトの名前を設定できます。

- 英語のアルファベットを使用して、最大30文字まで入力できます。

有線ネットワーク接続

⚙️ (Q.設定) → ⓘ → [ネットワーク] → [有線ネットワーク接続]

ケーブル接続が確立されている場合、プロジェクトはネットワークに自動的に接続されます。

ネットワークの接続設定を変更するには、[ネットワーク設定]で[編集]を選択します。

無線ネットワーク接続

⚙️ (Q.設定) → ⓘ → [ネットワーク] → [無線ネットワーク接続]

プロジェクトを無線ネットワーク用に設定すれば、利用可能な無線インターネットネットワークを確認して接続することが可能です。

- **非表示の無線ネットワークを追加**
ネットワーク名を直接入力すれば、ワイヤレスネットワークを追加することができます。
- **WPS-PBCで接続**
PBCをサポートしているワイヤレスAPのボタンを押して簡単に接続できます。
- **WPS-PINで接続**
接続先の無線APのPINをAP設定Webページに入力すると、簡単に接続できます。
- **Wi-Fi詳細設定**
ネットワークの情報を直接入力すれば、無線ネットワークに参加できます。

Wi-Fi Direct

 (Q.設定) →  → [ネットワーク] → [Wi-Fi Direct]

[Wi-Fi Direct]は、無線ルーターなしでプロジェクターをWi-Fi Direct対応デバイスに接続できる機能です。Wi-Fi Direct経由で接続されたデバイスに保存されたファイルを、[写真&動画]アプリおよび[音楽]アプリで開くことができます。

- 1 接続するデバイスでWi-Fi Directを有効にします。
- 2 プロジェクターに接続できるデバイスの一覧が表示されます。
- 3 接続するデバイスを選択します。
- 4 目的のデバイスが要求を承認すると、Wi-Fi Directが接続されます。
- 5 目的の接続デバイスで、LG TV Plusアプリまたはコンテンツ共有機能を使用してプロジェクターで開く動画、音楽、および写真ファイルを選択します。
- 6 Wi-Fi Direct経由で接続されたデバイスに保存されたファイルを、[写真&動画]アプリおよび[音楽]アプリで開くことができます。

LG Connect Apps

 (Q.設定) →  → [ネットワーク] → [LG Connect Apps]

[LG Connect Apps]は、写真共有やモバイルデバイスのリモート操作などのアプリが、プロジェクターの特定の機能にアクセスして制御できるようにします。

[LG Connect Apps]オプションを[オン]に設定します(この機能の使用を停止する場合は、この設定を[オフ]に戻してください)。

- すべての機器をプロジェクターから取り外す場合は、画面の[ペアリング解除]をクリックします。

機器設定

言語設定

⚙️ (Q.設定) → ⓘ → [機器設定] → [言語設定 (Language)]

画面に表示されるメニュー言語を選択できます。

- **メニュー言語**
画面に表示されるメニュー言語のいずれかを選択できます。
- **キーボード言語**
ソフトウェアキーボードの言語を選択します。

地域設定

⚙️ (Q.設定) → ⓘ → [機器設定] → [地域設定]

スマートプロジェクターの地域設定を変更できます。

- **郵便番号設定**
この機能を使用して郵便番号を入力し、プロジェクターの受信地域を設定できます。
- **サービス対象国**
[自動で設定]を使用しない場合、地域を自身で選択できます。
 - ネットワークに接続していない場合、地域を設定する必要があります。

時刻設定

⚙️(Q.設定) → ⓘ → [機器設定] → [時刻設定]

プロジェクターを視聴しながら、時刻を確認または変更できます。

- **自動で設定**

プロジェクター画面に表示される時刻をネットワーク経由で自動的に設定します。

- **時刻/日付/タイムゾーン**

自動で設定された現在時刻が正しくない場合は、時刻と日付を手動で設定できます。

- **カスタムタイムゾーン**

[タイムゾーン]で[カスタム]を選択すると、[カスタムタイムゾーン]メニューが有効になります。

スリープタイマー

⚙️(Q.設定) → ⓘ → [機器設定] → [タイマー] → [スリープタイマー]

指定された時刻にプロジェクターの電源がオフになるように設定します。

[スリープタイマー]を無効にする場合は、[オフ]を選択します。

オンタイマー/オフタイマー

⚙️(Q.設定) → ⓘ → [機器設定] → [タイマー] → [オンタイマー]/[オフタイマー]

プロジェクターの電源オン/電源オフの時刻を設定できます。

[オンタイマー]/[オフタイマー]を設定しない場合は、[オフ]を選択します。

- [オンタイマー]/[オフタイマー]を設定する場合は、時刻を正しく設定します。

- [オンタイマー]で設定された時刻にプロジェクターの電源がオンになった後でも、120分間いずれのボタンも押さないと、プロジェクターの電源は自動的にオフになります。

自動オフ

⚙️(Q.設定) → ⓘ → [機器設定] → [タイマー] → [自動オフ]

入力信号がないか、ボタンを押していない場合、事前に設定した時間の経過後にプロジェクターの電源が自動的にオフになります。

マイスタートの設定

 (Q.設定) →  → [機器設定] → [タイマー] → [オンタイマー] → [マイスタート設定]

プロジェクターやモバイルデバイスのLG TV Plusアプリでマイスタートを設定すると、プロジェクターを通して、天気やスケジュールなどの個人向けの情報を受信できます。[マイスタート設定]を[オン]に設定します。

- 気象情報は、ネットワークに接続されている場合にのみ閲覧できます。

アカウント管理

 (Q.設定) →  → [機器設定] → [アカウント管理]

アカウント情報や設定を管理します。

機器省エネ設定

 (Q.設定) →  → [機器設定] → [機器省エネ設定]

消費電力を抑えるように電源オプションを設定します。

- **自動電源オフ**
指定された時間、ユーザー入力がなかった場合に、プロジェクターの電源を自動的にオフにするように設定します。
- **HDD省エネモード**
このモードを[オン]に設定すると、プロジェクターに接続されたUSB HDDが、長時間にわたって操作されない場合に節電モードになります。

モバイルプロジェクター電源オン

⚙️(Q.設定) → ⓘ → [機器設定] → [モバイルプロジェクター電源オン]
[Wi-Fi経由でオンにする]または[Bluetooth経由でオンにする]が[オン]に設定されている場合、[モバイルプロジェクター電源オン]に対応するアプリを使用してプロジェクターを起動するか、プロジェクターでアプリ画面を見ることができます。

- [Wi-Fi経由でオンにする]機能は、その機能に対応するアプリまたはモバイルデバイスで使用する必要があります。
- [Bluetooth経由でオンにする]機能は、一部のLGエレクトロニクス製のスマートフォンでのみ使用できます。
- プロジェクターをネットワークに接続しておく必要があります。
- プロジェクターが電源に接続されている必要があります。
- プロジェクターおよび使用するデバイスが同じネットワークに接続されている必要があります。
- 初めて接続する際には、使用するデバイスの接続準備ができていることを確認します。

SIMPLINK (HDMI-CEC)

⚙️(Q.設定) → ⓘ → [機器設定] → [SIMPLINK (HDMI-CEC)]
HDMI経由で接続したさまざまなマルチメディア機器を、プロジェクターのリモコンで制御および使用できるので便利です。

自動キーストーン

⚙️(Q.設定) → ⓘ → [機器設定] → [自動キーストーン]
[自動キーストーン]は、プロジェクターの傾きによって画面映像が台形になっている場合に、台形補正值を自動的に調整して画面映像を長方形に補正します。

- **オン**
台形補正值を自動的に調整します。
- **オフ**
台形補正值を手動で調整します。

キーストーン

⚙️ (Q.設定) → ⓘ → [機器設定] → [台形補正]

プロジェクターが画面に対して平行になるよう設置されていない場合、画面映像が台形にならないように、キーストーンが映像の上下幅を調整します。

PJTモード

⚙️ (Q.設定) → ⓘ → [機器設定] → [投影モード]

この機能を使用すると、投写される映像の上下または左右が逆になります。

自動電源

⚙️ (Q.設定) → ⓘ → [機器設定] → [自動電源オン]

プロジェクターに電源コードが接続されている場合、プロジェクターの電源を自動的にオンにします。

- [オン]: 電源コードがプロジェクターに接続されていると、自動的にオンになります。
- [オフ]: 電源コードがプロジェクターに接続されていると、スタンバイモードになります。

高地

⚙️ (Q.設定) → ⓘ → [機器設定] → [高高度]

標高1200mよりも高い場所でプロジェクターを使用する場合は、この設定をオンにしてください。

オフのまま使用すると、プロジェクターが過熱したり、保護機能が有効になることがあります。その場合は、プロジェクターの電源をオフにして、数分待ってから再度オンにしてください。

LGワイヤレスキーボード

⚙️ (Q.設定) → ⓘ → [機器設定] → [LGワイヤレスキーボード]

この機能を使用すると、LGワイヤレスキーボードをデバイスに接続できません。

デバイスの電源をオンにし、ペアリングモードに設定してから、プロジェクターの画面で**[接続]**をクリックします。

- サポートされているキーボード
 - LG Rolly Keyboard
- すでに接続済みのLGワイヤレスキーボードがある場合、プロジェクターの電源をオンにすると、そのキーボードが自動的にプロジェクターに再接続されます。
- 既存の接続を切断するには、**[切断]**をクリックします。

設定のヘルプ

⚙️ (Q.設定) → ⓘ → [機器設定] → [設定のヘルプ]

設定メニューを選択すると、設定のヒントが表示されます。設定の説明ボックスのオン/オフを切り替えます。

スクリーンセーバー

⚙️(Q.設定) → ⓘ → [機器設定] → [スクリーンセーバー]

現在表示されているアプリが1時間の間ユーザー入力を受信しないと、[スクリーンセーバー]が起動します。

初期化

⚙️(Q.設定) → ⓘ → [機器設定] → [初期化]

プロジェクターを初期設定に戻します。この設定を行うと、すべての設定が初期値に戻ります。

初期化の後、プロジェクターの電源は自動的にオフになってから、オンになります。

- [ロック]を[オン]に設定した場合、[初期化]にパスワードを入力する必要があります。
- 初期化中に電源をオフにしないでください。
- 第三者に譲渡、売却する場合は、[初期化]でプロジェクターを初期設定に戻すことをお勧めします。

このプロジェクターについて

⚙️(Q.設定) → ⓘ → [機器設定] → [このプロジェクターについて]

カスタマーサービスに関する情報を確認できます(ソフトウェアアップデート、プロジェクター情報、ユーザー契約など)。

自己診断

⚙️(Q.設定) → ⓘ → [機器設定] → [自己診断]

製品使用中に起こった機能的な不具合をトラブルシューティングします。

HDMI 4K ディープカラー

⚙️(Q.設定) → ⓘ → [機器設定] → [HDMI 4K ディープカラー]

4Kディープカラー対応機器を接続すると、映像がよりクリアになります。ただし、4Kディープカラーに対応していないプレーヤーを接続すると正常に再生されない場合があります。この場合は、HDMI 4K ディープカラーの設定をオフに変更してください。

- 対応信号
 - オン: 4K@60Hz (4:4:4, 4:2:2, 4:2:0) サポート
 - オフ: 4K@60Hz(4:2:0) サポート

解像度	垂直周波数 (Hz)	色深度		
		8ビット	10ビット	12ビット
3840 x 2160p 4096 x 2160p	50	YCbCr 4:2:0	YCbCr 4:2:0 ¹⁾	
	59.94	YCbCr 4:2:2 ¹⁾		
	60	YCbCr 4:4:4 ¹⁾	-	-
		RGB 4:4:4 ¹⁾	-	-

1) [HDMI 4K ディープカラー]が[オン]に設定することでサポートされます。

- 設定を変更できるのは、表示中のHDMI入力だけです。
- HDMI端子ごとに別々に設定することができます。

プロジェクターモードの切り替え

⚙️(Q.設定) → ⓘ → [機器設定] → [モード設定]

[ホームモード]または[パブリックモード]を選択できます。

プロジェクターをご家庭で使用する場合は、[ホームモード]を選択してください。

[パブリックモード]は、プロジェクターを店舗に展示する場合にのみ使用します。[パブリックモード]を選択すると、店舗での展示に最適な設定になります。

[ロック]設定

- [ロック]を[オン]に設定します。
- 初期パスワードは「0000」に設定されています。

アプリの使用制限

⚙️(Q.設定) → ⓘ → [ロック] → [アプリの使用制限] → ロックするアプリケーションを選択します。

アプリケーションをロックまたはロック解除できます。

- 実行中のアプリケーションには、すぐにはロック機能を使用できません。

入力のロック

⚙️(Q.設定) → ⓘ → [ロック] → [入力のロック] → ロックする入力を選択します。

入力のロックを、ロックまたはロック解除できます。

パスワードの再設定

⚙️(Q.設定) → ⓘ → [ロック] → [パスワードのリセット]

プロジェクトターのパスワードを設定または変更します。

ユーザー補助

ポインター設定

⚙️ (Q.設定) → ⓘ → [ユーザー補助] → [ポインター設定]

画面に表示されるポインターの速度やポインターのデザインを変更します。

透過メニュー

⚙️ (Q.設定) → ⓘ → [ユーザー補助] → [透過メニュー]

プロジェクター画面に表示される一部の機能について、インターフェイス画面が半透明になるように設定できます。

設定を[オフ]に設定すると、インターフェイス画面は透過的に表示されません。

高コントラスト

⚙️ (Q.設定) → ⓘ → [ユーザー補助] → [ハイコントラスト]

この機能が[オン]になっている場合、画面のメニューやフォントの色の一部の背景を変更することで、明るい部分と暗い部分のコントラストを強調できます。

- [映像モード]または[画面サイズ]の設定を行う際、一時的に効果が消えます。

ソフトウェアの更新

ソフトウェア更新を使用して最新のバージョンを確認し、入手します。

⚙️(Q.設定) → ⓘ → [機器設定] → [このプロジェクターについて]

メニュー	説明
最新版を確認	最新のアップデートバージョンを確認する際、アップデートファイルや新しいバージョンがある場合のみ更新できます。 プロジェクターは自動的にソフトウェアバージョンを確認しますが、必要に応じて手動で確認することもできます。
自動アップデートを行う	[自動アップデートを行う]が選択されている場合、アップデートがあれば、質問のダイアログを表示せずに自動的に更新します。 [自動アップデートを行う]が選択されていない場合、アップデートがあれば、質問のダイアログを表示してから更新します。

- 最新のバージョンはインターネット接続を通して取得できます。
- ソフトウェアが更新されていない場合、一部の機能が正常に動作しない場合があります。

トラブルシューティング

製品の使用中に次のいずれかの問題が発生した場合は、以下の点を確認してください。製品には問題がない可能性があります。

製品の問題に関するカスタマーサービスの情報は、プロジェクターの  (Q.設定) →  → [機器設定] → [このプロジェクターについて] で確認できます。

正常に動作しない

電源をオンにしてしばらく経っても画面が表示されない。

- これは、電源投入中に発生する可能性があるノイズを除去するためのノイズ除去プロセスによるものです。製品に不良があるわけではありません。

マジックリモコンのポインターが画面に表示されない。

- マジックリモコンのバッテリー残量が不足している可能性があります。取扱説明書の「マジックリモコン」に記載された手順に従ってバッテリーを交換し、マジックリモコンをもう一度登録してください。
- これはマジックリモコン対応モデルにのみ適用されます。

プロジェクターの電源が入らない。

- プロジェクターの電源プラグがコンセントに正しく接続されていることを確認してください。
- マルチコンセントを使用している場合、正常に動作していることを確認してください。
- プロジェクターの電源がオンになっているか確認してください。

画面に信号がないと表示される。

- HDMIケーブルがプロジェクターに正しく接続されていることを確認してください。
-  →  から接続される入力装置を選択してください。
- セットトップボックスやブルーレイプレイヤーなどの外部デバイスの電源が入っていることを確認してください。

USBデバイスを接続すると動作しない。

- USBおよびUSBケーブルがバージョン2.0以上であることを確認します。

画面の問題

まず、 (Q.設定) →  → [映像] → [映像テスト]を行い、プロジェクターに異常がないかを確認してください。

セットトップボックスを使用している場合、電源を切ってから再度電源を入れてください。

セットトップボックスが現在プロジェクターと接続されていることを確認してください。

水平または垂直の線および網目模様が瞬間的に表示された後、画面が揺れる。

- ワイヤレス電話、ヘアドライヤー、電気ドリルなどが近くで使用されている場合は、使用を中止してください。この問題は、別のプロジェクターなどの高周波電子機器、または強力な電磁気源が原因です。

画面の上下左右に縦線が見えていて、また、HDMIに接続しようとするとき色が滲んでいる。

-  (Q.設定) →  → [映像] → [画面サイズの設定] → [ジャストスキャン] [ジャストスキャン]を[オフ]に設定します。
[ジャストスキャン]で元の映像がそのまま表示されます。信号がノイズを含んでいる場合、画面の上下左右にノイズが見えることがあります。

HDMIケーブルを使用すると、画面がブランクになるか、映像がぼやける。

- HDMI®ケーブルが必要な標準を満たしていることを確認してください。認証済みのHDMI®ケーブルでない場合、画面がちらついたり、何も表示されないことがあります。
- ケーブルが正しく接続されていることを確認します。正しく接続されていないと、画面のちらつきの原因となることがあります。

音声の問題

まず、 (Q.設定) →  → [音声] → [音声テスト]を実行して、プロジェクターに異常がないかを確認してください。

セットトップボックスを使用している場合、一度電源をオフにしてから再度電源をオンにしてください。

セットトップボックスが現在プロジェクターと接続されていることを確認してください。

画面は良好だが、音声が再生されない。

-  (Q.設定) →  → [音声] → [スピーカー設定]
[スピーカー設定]が[プロジェクター内蔵スピーカー + オーディオ出力(光デジタル)]または[プロジェクター内蔵スピーカー]に設定されているかを確認してください。
セットトップボックスを使用している場合、セットトップボックスまたはプロジェクターの音量を0に設定している場合、または消音が無効な場合は、音が出ません。音量を適切なレベルに設定してください。

HDMI/USBポートに接続すると音声が再生されない。

- 高速HDMI®ケーブルを使用していることを確認してください。
- USBおよびUSBケーブルがバージョン2.0以上であることを確認してください。
- 通常の音楽ファイル(*.mp3、*.wav、*.ogg、*.wma)を使用してください。

PC接続の問題

PCに接続した後も画面がブランクのままになっている。

- PCがプロジェクターに正しく接続されていることを確認してください。
- リモコンでプロジェクターの電源をオフにして再度オンにしてください。
- プロジェクターをオンにした状態でPCを再起動してください。
- 現在の画面解像度がPC入力をサポートしていることを確認してください。
- デュアルモニターを使用する場合は、PCまたはノートブックがデュアルモニターモードをサポートしているか確認してください。
- 接続しているHDMIケーブルがハイスピードに対応しているか確認してください。
- PCのRGB出力ポートがプロジェクターのHDMIポートに接続されている場合、RGBからHDMIへの変換器を使用してください。
HDMIからRGBへの変換器を使用した場合、画面に何も映りません。

PCをHDMIケーブルで接続すると音声再生されない。

- グラフィックカードまたはPCのHDMI®端子が音声の伝送に対応しているか確認してください。グラフィックカードまたはPCの仕様については、各製造元にお問い合わせください。また、DVIとHDMIの変換ケーブルを使用している場合は、オーディオケーブルの接続が必要になります。

PCに接続した後、画面が欠損したり、片側に寄ったりする。

- PCの解像度をプロジェクターが対応する解像度に設定します（解像度を変更した後、PCを再起動してください）。

写真&動画および動画の再生の問題

詳細情報と対応ファイルに関しては、「他のデバイスファイルの再生」をご覧ください。

[写真&動画]にファイルが見つからない。

- USBストレージデバイスのファイルをPCで読み取れるか確認してください。
- ファイル拡張子がサポートされていることを確認してください。

「このファイルはサポートされていません」というメッセージが表示されるか、音声は通常どおり再生されるが動画が再生されない。

- PCの動画再生ソフトウェアでファイルが問題なく再生されるか確認してください。また、ファイルが破損していないか確認してください。
- ファイルの拡張子がプロジェクターに対応しているか確認してください。
- 映像の解像度が対応しているか確認してください。
- ビデオコーデックが対応しているか確認してください。
- フレームレートが対応しているか確認してください。

「この音声はサポートされていません」というメッセージが表示されるか、動画は通常どおり再生されるが音声が再生されない。

- PCの動作再生ソフトウェアでファイルが問題なく再生されるか確認してください。また、ファイルが破損していないか確認してください。
- ファイルの拡張子がプロジェクターに対応しているか確認してください。
- 音声コーデックが対応しているか確認してください。
- ビットレートが対応しているか確認してください。
- サンプリングレートが対応しているか確認してください。
- 音声チャンネルの分離がサポートされているか確認してください。

字幕が表示されない。

- PCの動作再生ソフトウェアでファイルが問題なく再生されるか確認してください。また、ファイルが破損していないか確認してください。
- ビデオファイル名と字幕ファイル名が一致しているか確認してください。
- ビデオファイルと字幕ファイルが同じフォルダーにあるか確認してください。
- 字幕ファイルの形式が対応しているか確認してください。
- 言語が対応しているか確認してください(字幕ファイルの言語は、メモ帳でファイルを開いて確認できます)。
- 字幕のエンコードが正しく設定されていないと、字幕が正しく表示されないことがあります。
動画再生画面の下部にあるコントロールパネルで  →  を選択し、**[コードページ]**の値を変更します。
- コンテンツ共有機能で別のデバイスに保存されている動画ファイルを再生する場合、使用するプログラムによっては、字幕を使用できないことがあります。

ネットワーク接続の問題

ネットワーク接続状況を以下のように確認できます。

-  (Q.設定) →  → [ネットワーク] → [有線ネットワーク接続]
-  (Q.設定) →  → [ネットワーク] → [無線ネットワーク接続] → [Wi-Fi 詳細設定]

× × × プロジェクターの次にXが表示される場合

- プロジェクターまたはルーター(アクセスポイント)を確認します。
- プロジェクター、ルーター、ケーブルモデムの接続ステータスを確認します。
- 次の順序で電源をオフにしてから、オンにします。
 - 1.ケーブルモデム:ケーブルモデムが初期化されるのを待ちます。
 - 2.ルーター(アクセスポイント):ルーターが初期化されるのを待ちます。
 - 3.プロジェクター
- 無線接続を使用している場合は、SSID(ネットワーク名)およびルーターの無線チャンネルを変更します。
- 静的IPを使用している場合は、IPを直接入力します。
- 設定方法などの詳細はインターネットサービスプロバイダまたはルーターの製造元にお問い合わせください。

— × × ゲートウェイの次にXが表示される場合

- ルーター、ケーブルモデムの電源コードを抜いて、10秒間待ちます。電源を再度オンにしてください。
- ルーターまたはケーブルモデムを初期化(リセット)します。
- 設定方法などの詳細はインターネットサービスプロバイダまたはルーターの製造元にお問い合わせください。
- ルーターの製造元のWebサイトにアクセスして、ルーターに最新バージョンのファームウェアの更新プログラムがないか確認してください。



DNSの次にXが表示される場合

- 設定方法などの詳細はインターネットサービスプロバイダまたはルーターの製造元にお問い合わせください。
- ケーブルモデムまたはルーターの電源コードを抜いて、10秒間時間を置いてから電源を再度オンにしてください。
- ケーブルモデムまたはルーターを初期化(リセット)して再接続してください。
- プロジェクター/ルーターのMACアドレスがインターネットサービスプロバイダに登録されていることを確認します(ネットワークステータスウィンドウのペインに表示されたMACアドレスをインターネットサービスプロバイダに登録する必要があります)。

LGアカウントの問題

一部の国では、Website (www.lgappstv.com) へのアクセスが制限される場合があります。

すでにプロジェクターで会員登録している。

- プロジェクターですでに会員登録いただいている場合は、Webサイトで再度で登録いただく必要はありません。同じIDとパスワードでWebサイトにサインインし、追加情報を入力して、メール認証プロセスを完了することができます。

同じプロジェクターで家族が異なるIDを使用したい。

- 1台のプロジェクターで複数のIDを登録することができます。

ID/パスワードを忘れてしまった。

- サインイン画面でパスワードを忘れた場合を選択すると、メールでパスワードを初期化できます。
- PCで会員登録した場合は、Webサイト (www.lgappstv.com) でID/パスワードを調べることができます。

コンテンツの問題

[ホーム]にコンテンツが表示されない。

- この機能は、特定の国でのみ使用できます。サービス対象国の設定が変更されていると、コンテンツを視聴できないことがあります。 (Q.設定) →  → [機器設定] → [地域設定] → [サービス対象国]で、サービスを利用するサービス対象国に変更してください。
- 削除されたコンテンツを閲覧できない場合があります。必要なアプリを再度インストールしてください。
- 提供コンテンツはサービスプロバイダーにより変更・中断される場合があります。

インターネットブラウザの問題

インターネットの使用時に、特定のWebサイトで表示されない部分があります。

- [ウェブブラウザ]ではHTML5のみがサポートされます。フラッシュプラグインには対応していません。
- [ウェブブラウザ]では、プラグインのインストールをサポートしていません。
- [ウェブブラウザ]では、JPEG/PNG/GIF形式以外のメディアファイルを再生できないことがあります。
- 添付ファイルや画像は保存できません。

特定のWebサイトにアクセスするとインターネットブラウザが自動的に終了してしまう。

- Webサイトの総容量が大きすぎる場合、内部メモリが不足してインターネットブラウザが強制終了することがあります。



プロジェクターのモデルおよびシリアル番号は、プロジェクターの背面または側面に記載されています。保守が必要になった場合に備えて、下記にご記入ください。

モデル _____

シリアル番号 _____